

刻翻

輿地誌畧

二篇二

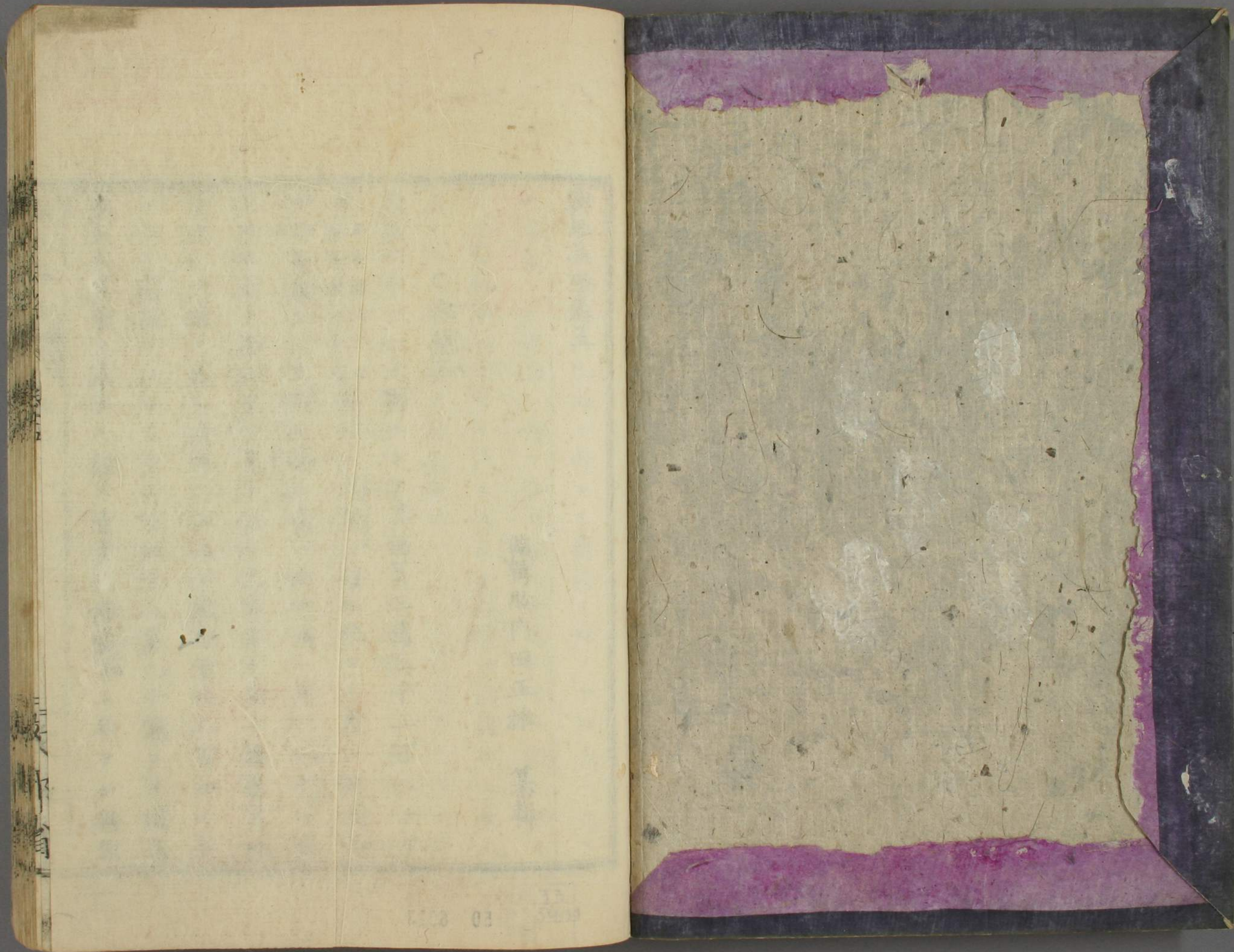
五

卷之五目錄

○ 歐羅巴洲之部	二
○ 仙蘭西丁 巴黎	十八
○ 仙國畧史	二十
○ 和蘭	四十
○ 比耳義	四十
○ 和蘭比耳義兩國畧史	五十
○ 西班牙	六十
○ 葡萄牙	七十
○ 西班牙葡萄牙兩國畧史	七十

ル 2
3306
5





門ル2
號3306
卷5

輿地誌略卷五



編輯助内田正雄
纂輯

○佛蘭西

歐羅巴中ノ一大國ニシテ其幅員三萬三千三百八十方
里本年羅里ノ沿西北ハ英岔イギリスニ接シ北ヨリ東ハ比利時
耳曼瑞士イタリ以太利ニ接シ南ハ地中海ニ濱シ比利牛斯
山脈ヲ隔テ西班牙ニ界シ西ハ大西洋ニ面ス地形大略
方正ノ六角ヲ為シ東西二百七十餘里南北二百四十里
ニシテ閩國ノ人口三千六百四十八萬九千餘アリ國民
多クハ舊教ヲ奉ス人種ハ皆古代佛蘭哥ト名ケシ種族

輿地誌略

卷五

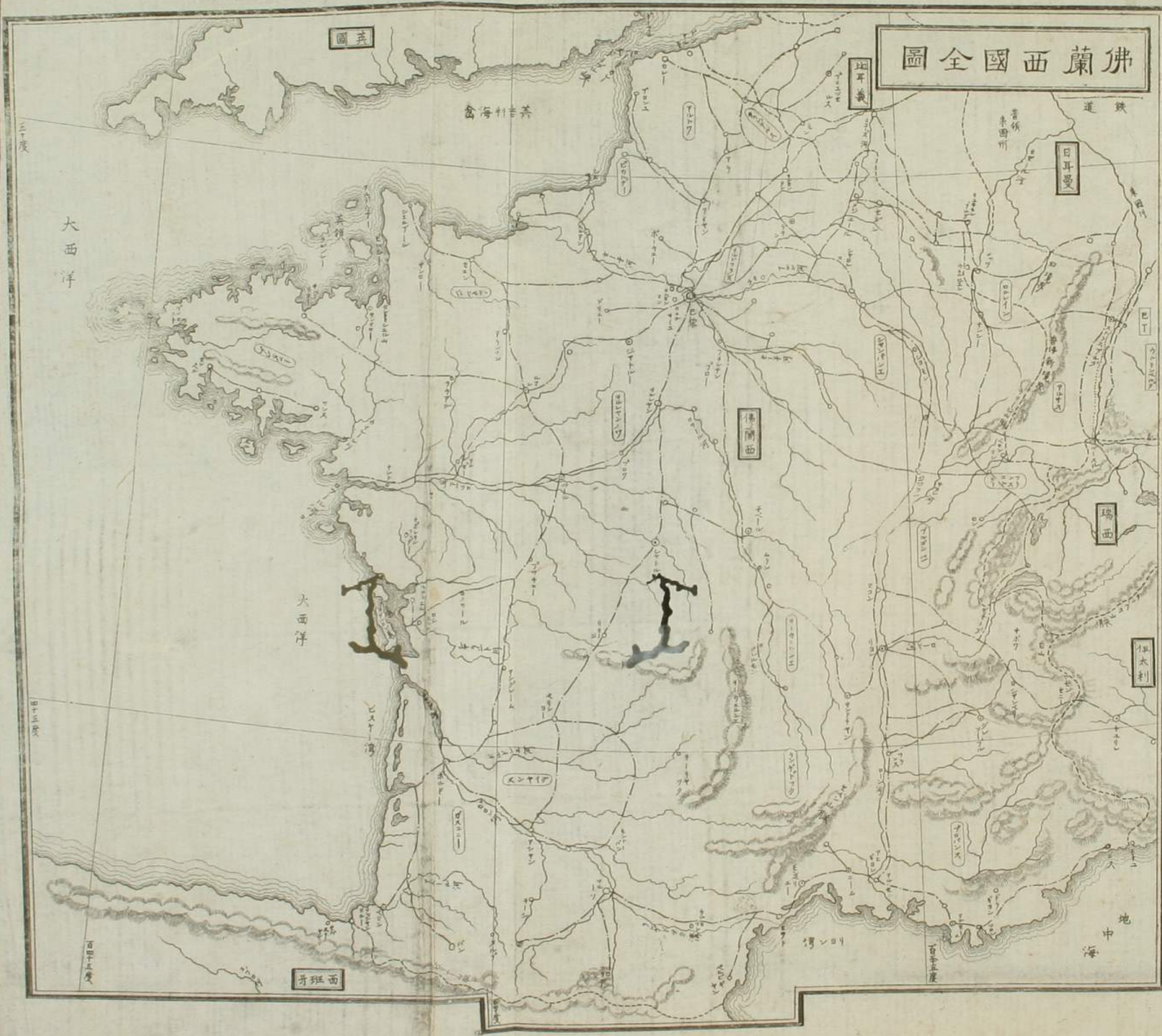
佛蘭西

分類 33
書号 50(13)
通番

50 6913

ノ後裔ニ属スト雖モ其中日耳曼種ニ係ルモノ八十万人有リ又不列達尼ノ人民ハ不列敦種ニ属シ其數一百万以上ニ抵ル又其南部及ビ東南國界ノ土民ハ多ク西班牙語以太利語ヲ雜ヘ用ト種属相混合ス又西岸諾耳曼的ノ人民ハ本那威^{ノルウェー}國ヨリ侵入セシ種族タリト雖モ後世次第ニ混和スルニ至リ○緯度ハ四十二度ヨリ五十一度ニ達シ京城巴黎ノ如キ大略樺太ノ南端ト緯度ヲ同ウスト雖モ氣候温和ニシテ冬月氷雪ヲ見ル稀ナリ○此國往古ヨリ久シク三十二邦ニ區別セシガ八十年前ノ大騷亂ニ於テ之ヲ廢シ爾來八十六州ニ分チ又十一年前以太利ヲ助ケテ澳國ト戦ヒ「サボイ」ニスノ





班牙語以太利語ヲ雜ヘ用ヒ種屬相混合ス又西岸諾耳
 曼的ノ人民ハ本那威^{ノルマン}國ヨリ侵入セシ種族タリト雖
 モ後世次第ニ混和スルニ至リ○緯度ハ四十二度ヨリ
 五十一度ニ達シ京城巴黎ノ如キ大略樺太ノ南端ト緯
 度ヲ同ウスト雖モ氣候温和ニシテ冬月氷雪ヲ見ル稀
 ナリ○此國往古ヨリ久シク三十二邦ニ區別セシガ八
 十年前ノ大騷亂ニ於テ之ヲ廢シ爾來八十六州ニ分チ
 又十一年前以太利ヲ助ケテ澳國ト戦ヒ「サボイ」「ニス」ノ

二邦 三州ニ フ加タリ然ニ本年普國ト戦争ノ終ニ於テ
 亞撒西 トル 羅來内ノ大半 都テ邦名ハ今政府ニ用ヒバト雖モ因襲ノ常ニ之ヲ稱シ殊ニ歴
史ニ關係スルモノ多キガ故ニ圖中〇ヲ掲ケテ之ヲ示ス フ割キ與ヘ人口二百十七
 万餘幅員凡千五百方里ノ地ヲ失ヘリ境界ノ沿革ハ圖
 中ニ就テ見ルベシ○地勢西ヨリ北部ハ全ク平地ニシ
 テ處々丘陵ヲ散見スルニ過ギズ中央亦平原多ク西南
 ノ一部瀦澤ノ濕地アリ東部ヨリ南部ニ至ルニ隨ヒ漸
 ク嶮峻トナリ國界ニ於テハ更ニ高山多シ 歐羅巴總論ヲ并セ見ル
 殊ニ以太利 イタリ 瑞士ニ界スル所亞爾伯 アルプス ノ高峰群立シ有
 名ナル白山 モンブラン 等亦域内ニ在リ○江河ハ甚數多シ其大
 ナルモノ巴黎府下ヲ流ル、所ノ塞納河及ヒ羅爾河 ロアール 羅

尼河 カガ 倫河等ニシテ皆非常ノ廣河ヲ為スニ至ラズ其
 他溝渠甚多シ就中南溝 ナナメ ノ如キハ路易十四世ノ時鑿通
 セシ所ニシテ長サ大約五十七里地中海ヨリ伽倫河 ガロン ニ
 通シ百頓ノ商船直チニ大西洋ニ達スルノ便ヲ得ルナ
 リ「モンシユウイ」溝ハ長サ四十二里來因河ト「サラ」河ノ
 水路ヲ通ゼリ其他之ヲ畧ス
 土地大略豐饒ニシテ殊ニ北部ハ能ク開墾セリ氣候ハ
 都テ溫和ニ屬スレヒ羅爾河 ロアール ノ南北ヲ以テ著ルク其冷
 温ヲ異ニス故ニ南部ノ葡萄ヲ培植スルニ於テモ概子
 此河ヲ以テ堰トナスニ至ル波爾多府 ボルドー ノ近傍伽倫河 ガロン ノ
 濱賞巴尼 シヤパン 疴威内 エイウエルン 等ノ地方都テ葡萄ヲ培養スル最モ夥

シク其數種ノ酒ヲ釀シテ四方ニ輸出スルコト固ヨリ人
ノ知ル所ニシテ其量甚夥シ「シヤンパネ」ボルドー等ノ酒名普ク世ニ行ル皆産ス
ル所ノ地名北部ハ桃李梨栗等ノ菓物及ヒ穀類ノ産ニ
ヲ以テ稱ス富ニ耕作牧畜ノ業甚ダ開ケ又南部ハ燕麥ヲ生スルコ
少シト雖モ蠶桑ノ業開ケ殊ニ錢及ヒ石炭ノ坑窯ニ富
メリ其他石塩銅銀等有凡其量甚多カラズ○製作場ノ
盛ナル此國家モ歐洲中ノ高等ニ居レリ巴黎ノ時辰儀
及ヒ諸器械花氈陶器馬車紙類ニ於ル埋昂ニムス尼美斯ニアス亞威
ギンツル農都爾ノ絹帛ニ於ル佛蘭德フランデルス勒ノ砂糖ニ於ル加爾カール加索
内ノ手套ニ於ル皆甚著名ナリ輸出品ハ葡萄酒絹帛毛
布麻布等ヲ第一トス其數夥シ

政體ハ歷代君主專治ノ王國ナリシガ八十年前ノ大亂
ヨリ以來或ハ合衆共治トナリ或ハ帝國トナリ沿革常
ナラス近頃十九年以來拿破崙三世亦帝位ニ昇リ一世
ニ雄視スト雖モ今次普ソビエト戦争ニ因テ又合衆共治ニ復
シ繼テ國內大ニ動亂ス總テ百年以來政制ニ於テハ尚下
ノ略史ニ記スルガ如ク概テ十數年間ノ定制ヲ永續スル
コト能ハス國民毎ニ數多ノ黨與ヲ分チ互ニ相仇視シテ
殺戮殘忍ノ風俗ヲ脱レズ非常ノ英雄有リテ之ヲ統御
スルニ非レバ殆ト永久ノ治安ヲ稱スル能ハサルベ
シ蓋シ先世諸王貴族ト共ニ威權ヲ私シテ久ク民權ヲ
抑制セシガ故ニ民心ノ君上ヲ仇視スル風習ヲ養成シ

遂ニ激動シテ彼ノ大騷亂ヲ為セリ抑其變革英國ノ如ク漸ヲ以テセス加ルニ君上ノ家系屢變ズルニ因リ黨與ノ數益衆ク其說互ニ氷炭相容レザルニ至レリ嗚乎國力ノ盛大都城ノ華美ヲ以テ獨リ文明ト稱スベカラズ其人心ノ一和セザル動モスレバ内亂ヲ醸シ國力ヲ耗シテ百姓ヲ塗炭ニ陥ル歎ズベキノ甚シキナリ○文化ノ隆盛ナル奕世碩學大家并出デ學術ノ精覈ナル發明ノ衆多ナル言フヲ待タズ殊ニ路易十四世ノ時學者文人ヲ網羅シ文華ノ盛ヲ極メシヨリ他邦ト雖モ此國ノ言語文學ヲ講習シテ歐洲ニ普カラザルナシ然レモ農民ノ如キ教化至テ淺ク全國ヲ概論スル時ハ歐洲中

文化中等以下ニ居ルト云フ○都人ノ氣象敏捷ニシテ常ニ新奇ヲ競ヒ工藝辭令ニ巧ニシテ禮讓ニ厚ク優美ニシテ品致アル歐洲皆之ヲ稱ス然レモ或ハ輕浮ニシテ久キヲ持セザルノ風習アリ故ニ戰鬥ノ如キモ概子攻ルニ驍勇ニシテ支ルニ耐忍ナル能ハズ又人材ノ輩出スルコト此國殊ニ夥シト雖モ概スルニ國民ノ氣象互ニ其趣ヲ異ニシ開化ノ淺深大ニ混合セル者ナリ○此國古ヨリ一盛一衰更ル消長シ常ニ歐洲大陸ノ治亂ニ關係ス且最舊國ニシテ查理曼帝ノ時大略歐洲ヲ合シ其盛大ヲ極ムト雖モ久シカラステ衰ハ後來屢英國ノ兵ヲ被リ國區ブルニ幾キモノ數次又路易十四世

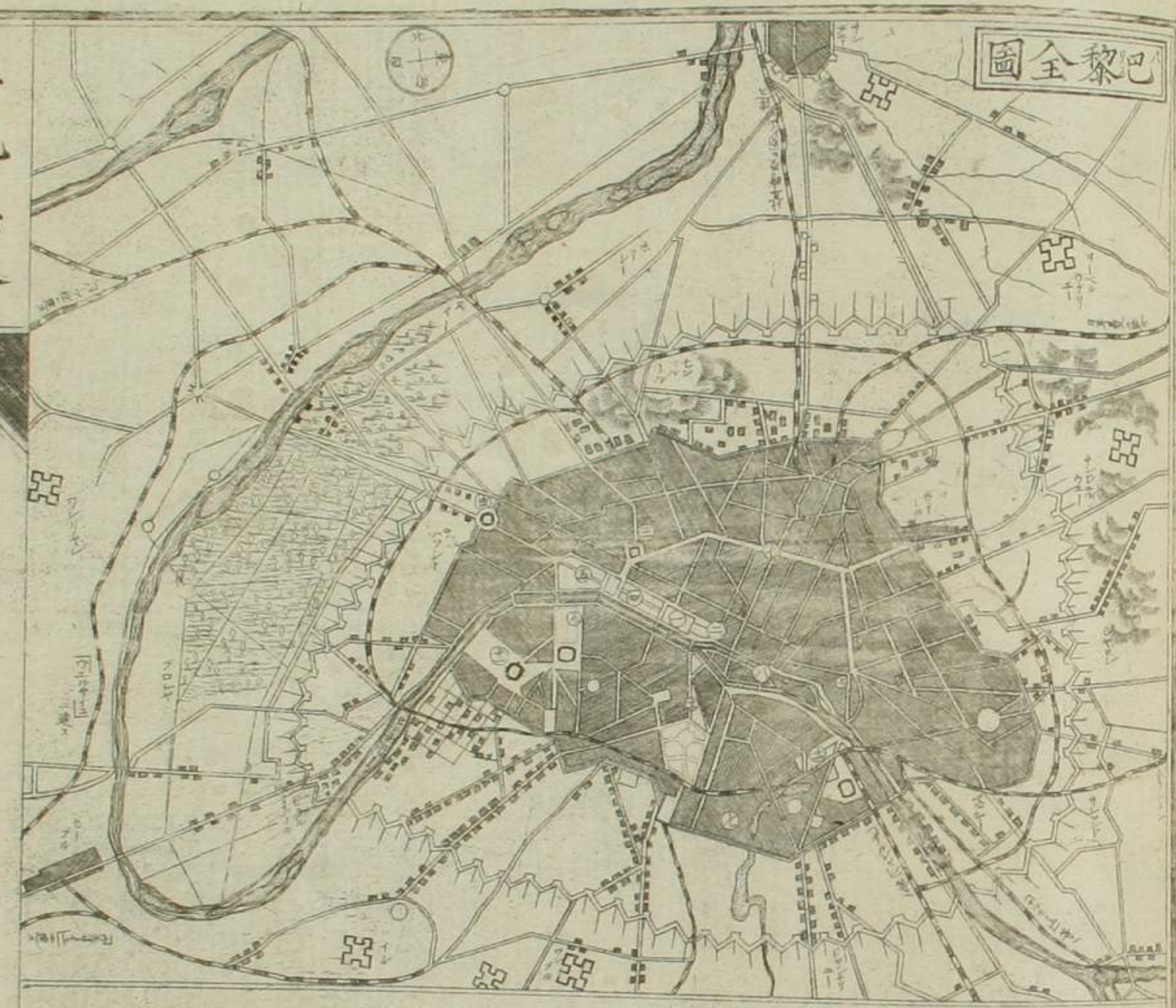
ノ時其富盛ヲ稱シ各國ト兵ヲ交ヘ禍結デ解ケズ次テ
歐洲未曾有ノ内亂ヲ醸セリ拿破倫一世ノ時又殆ト歐
洲ヲ併吞セシガ盛衰掌ヲ反スガ如ク霸業一敗シテ地
ニ墮テ終ニ孤島ニ流寓スルニ至レリ同三世位ニ登リ
頓ニ國勢ヲ擴張メ各國ヲ睥睨シ毎ニ歐洲ノ盟主タル
ガ如ク其國力富盛ニメ兵馬精銳ナルヲ各國風ヲ望シ
テ畏憚ヲ懷カザルモノナシ殊ニ魯西亞ノ戦争以來更
ニ國威ヲ輝シ海軍ノ如キハ蒸氣軍艦ヲ以テ夙ニ其製
ヲ一變シ再ヒ鐵甲船ノ製造ニ先鞭ヲ著シ久シク海上
ニ跋扈シタル英國海軍ノ如キモ息ヲ屏メ色ヲ失フテ
一度是ヲ震懾スルニ至ル然ルニ復タ土崩シテ終ニ昇

ヲ遷スニ及ベリ蓋羅馬ノ雖ヲ接テ歐洲大半ヲ領シ者
再次此國ニ在テ他邦ニ其類稀ナリ
此國往昔ハ航海ノ業ニ精シカラズ軍艦商船共ニ甚僅
少ナリ蓋シ國民ノ風習繁華ノ都城ニ安居シテ遠洋ヲ
跋渉スルヲ好マズ然ルニ近代頓ニ盛大ニ至リ一度英
國ヲ凌グニ至リシモノハ拿破倫三世ノ力ニ依レリ爾
來英佛持角ノ勢ヲ為シ鐵甲船ノ充備ノ如キ共ニ歐洲
ニ冠タリ其軍艦ノ總數四百餘艘其中鐵甲船ニ系ルモ
ノ六十二艘有リ又商船ノ闔數一万五千餘艘ニ過グ○
沿海ノ島嶼甚大ナルモノ有ラズ唯地中海ノ中撒丁島
ニ隣シタル哥塞牙島表面五百六十方里餘人口二十四
万三千有リテ現ニ此國ノ一州ニ算入ス以太利ノ國ヲ
合セ見ルベシ

島中高山多ク其頂常ニ氷雪ヲ冠シ谿間ノ地ハ大樹深
 林ヲ為シ船材船檣ニ用フヘキモノ多シ且土地豊饒ニ
 シテ産物多ク菓物葡萄酒ノ輸出少ナカラス西岸ノ海
 港「アジヤシ」ノ都會アリ即チ拿破崙一世ノ生レシ所ナ
 リ○西北ノ海岸ニ接シタル日西額尼西等ノ數島ハ今
 尚ホ英國ノ所領ニメ海峽諸島ト名ク

此國海外ノ領地ハ阿爾及利亞アルゼリヤ亞非理加洲ノ北岸ヲ以テ最大トス幅
 員三方方里餘ニノ人口二百六十万アリ其中歐羅巴人
 ハ十七万ニ過キス地勢本國ニ遠カラザルヲ以テ往来
 繁ゲク他ノ屬國ト同シカラズ且平日常備兵ノ一部ヲ
 屯シ練兵ノ地トス亞非理加洲ノ其他諸洲ニ散在セル

巴黎全圖



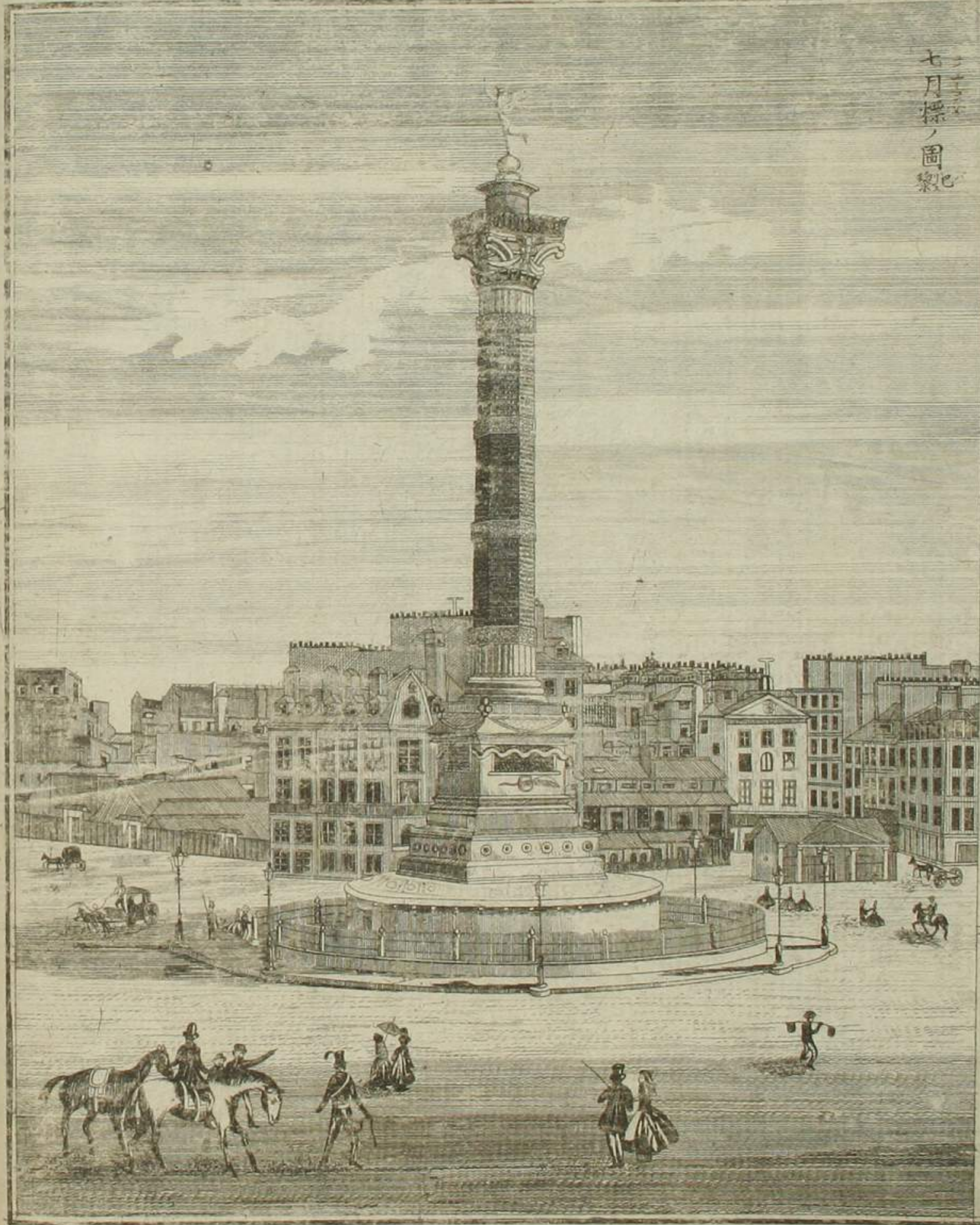
- 一 鐵道
- 二 城堡
- 三 別墅等ノ家
- 四 市街
- 一 チニイレー官
- 二 ルーブル
- 三 ラマドレン寺
- 四 プラトツテラコルデ
- 五 シヤンゼリセー
- 六 パレロワヤル
- 七 ブルバール
- 八 ノートルダム
- 九 フテルドザンワリド
- 十 パンテヤン
- 十一 植物園
- 十二 リュクサンブール
- 十三 シヤンデマルス
- 十四 アルクデトリヨンフ

東地志略

卷三

一ノ部

七月標ノ圖



屬地ハ皆甚^メ肝要ナル者多カラス未利益ヲ得ルニ至ラ
 ス即チ塞内^{子カ}加^コ金濱^コガブ^ン不爾奔島^{以上亞非}加夜那
 瓜達鹿馬的尼^{以上亞米}及印度安南ノ海岸^{亞細}等ナリ
 又印度洋太平洋ノ間許多ノ嶋嶼ヲ散領スト雖モ皆小
 ニノ不毛ノ地多ク都テ之ヲ算スルニ^{アル}合^セ算^スラ七万七
 千八百方里餘ニメ人口ハ三百六十餘万ニ過ギズ
 巴黎^{ハリス}ハ國ノ京城ニシテ^{北緯四十八度五十分西}經^{百三十七度二十五分}人口一
 百十五萬アリ其幅員ノ大ナルハ凡ソ龍動^{ロンドン}ノ三分一ニ
 過ギスト雖モ建築ノ峻麗市街ノ華美ニ至テハ獨リ之
 ニ優ルノミナラズ實ニ歐洲中ノ第一ト稱スベシ^{平治}
 ノ景^景其位置塞納河ノ南北兩岸ニ跨リテ北部更ニ大
 ノ景^景

興地志略
 卷五
 八

ナリ二十三箇ノ錢橋石橋ヲ架シテ之ヲ連接ス外周ハ
 堅固ノ郭壘ヲ繞ラシ郭外又處々ニ於テ許多砲臺ヲ設
 ク又府内ヲ三大區ニ別チ北岸ノ總稱ヲ「ウイルト名ケ
 中央ヲ「シテ」トシ南岸ヲ「ユニタルシテ」ト名ク此地
 羅馬該撒セサルノ時已ニ一府ヲ成シ「バリシヲラム」ト名ケシ
 モノ即シテ「」ノ部ニシテ次第ニ南北ニ増築セルモノ
 ナリ「ブルバール」ト名クル廣潤ノ地ハ往
 時ノ外郭ヲ毀チ夷ゲタル所ナリ近代更ニ市街
 ヲ新築シ其殿閣衙署寺觀堂宇ニ至ルマテ精英華煥奇
 巧ノ秀ヲ鍾メ街衢肆店清潔美麗皆以テ心目ヲ炫耀ス
 ルニ堪タリ其「ユイレリ」ノ宮殿ノ如キ金銀ノ脩飾ヲ
 盡シ前面ニ園庭ヲ周ラシ綠樹翠草閑雅畫クカ如ク後

面ハ「ル」ブルノ宮殿ニ連リ廣キ方正ノ空地ヲ餘シテ
 殿門極メテ峻麗ナリ蓋シ「ユイレリ」ハ三百六年前加
 他隣馬的斯后之ヲ築キ夾世帝王ノ宮殿タリ「ル」ブル
 ハ路易十四世ノ落成セシ所ニメ共ニ拿破倫一世ノ時
 之ヲ増築シ二宮ヲ連接スルニ至レリ其壯麗ナル實ニ
 歐洲第一ノ宮殿ト稱スベシ「ル」ブルハ方今名畫古器
 珍玩奇貨諸器械等ノ寶藏ニ係ル皆往テ縱觀スルヲ得
 ベシ其外部皆彫鏤シタル大石ヲ以テ築キ内部ハ金碧
 ヲ以テ鏤飾シ地板ノ如キ貴重ノ木材ヲ以テ組ミ瑩々
 鏡面ノ如ク萬種ノ貯蓄此中ニ羅列シ終日周覽スト雖
 モ猶其大略ヲ盡ス能ハズ「バ」レロアヤル及ビ「リ」キサン

東地志略 卷五 文部省 九

ブルル等ノ宮殿雄麗亦之ニ次ク「パレロアヤル」ハ「ル」
 ブルヨリ稍北ニ在リ中央ニ方正ノ庭園ヲ設ケ四周百
 貨ヲ鬻グノ店アリ 殊ニ奢侈ノ器玩新様ノ調 茶店酒舗
 等備ハラザルナシ「リュキサングール」ハ上院ノ議事堂ト
 シ其一部ハ近世ノ名畫ヲ集蓄セル藏畫院タリ○「ノ」
 トルダムト名クル寺院ハ塞納河ニ濱シ古代ノ築造ニ
 シテ前面二箇ノ高塔其頂ヲ落成セズト雖モ亦甚壯觀
 ナリ其他「ラマドレン」拿破倫一世ノ建築スル所「パン」
 「ン」南都ニ在リ圓 等ノ寺院共ニ希臘國ノ築造法ニ倣
 ヒ其奇巧ヲ盡シタル「歐洲中ニ於テ屈指ノ奇觀ナリ
 ○廢兵濟病院 拿破崙一世ノ墳墓アリ 議事院、鎮臺、バンク 兌銀局及ヒ諸官

局等皆峻麗ナラザルハナク又數基ノ旌績標有リ就中
 七月標ハ直立二十二間一尺頂上ニ鍍金ノ天人ヲ安置
ジュイキコクス
 ス三十一年前七月ノ動亂平治ヲ標スルモノナリ「プラ
 ースワンドム」ハ周圍峻麗ナル造築ノ中八角ナル空地
 ヲ餘シ中央ニ直立二十二間餘ノ圓キ銅標アリ墺國ト
 戦争ノ時奪タル所ノ大砲ヲ以テ之ヲ鑄造スト云フ頂
 上ニ拿破崙一世ノ像ヲ備フ又塞納河ノ二派ニ分レ再
 ビ合流スル所「ボンニユフ」ノ橋梁ヲ架ス顯理第四世騎
 馬ノ銅像有リ景色頗佳ナリ都テ此府街衢列肆ノ間ニ
 於テ所々ニ空濶ノ地ヲ存シ樹木ヲ植エ石像銅人噴水
 器等ヲ設ケ以テ遊覽ニ供スベキモノ多シ殊ニ「チュイレ

リ一宮ノ前面「プラー」スデラ、コンユルデノ如キハ府下
 第一ノ美景ニシテ廣濶平坦ノ地清潔ニシテ更ニ寸芥ヲ
 遺サス四周彫刻ノ石像噴水器ヲ設ケ彼ノ三十五年前
 埃及ヨリ遷セシ所ノ有名ナル「オブリスキ」ハ中央ニ直
 立シ長十四間一石ヲ以テ造ル 四方洞開シテ眺望極メテ奇ナリ此
 邊ヲ徘徊スル時ハ右ニ「ラマドレン」ノ大寺觀海軍局等
 ヲ望ミ左ハ塞納河畔ニ臨ミ數箇ノ長橋ヲ帶ビ對岸議
 事院聳ヘ前面ハ「シヤンゼリセ」ノ大道ニ連リ綠樹掩
 映シテ玻璃ヲ以テ作りタル製造展觀場英國サイデン
ハムノ製造ニ
 似テ稍ノ外遙ニ「アルクデトリヨン」ノ大門ヲ眺望ス
 小ナリ一世此造營ヲ始メ三十四年前ニ落成ス蓋シハ
 拿破崙一世此造營ヲ始メ三十四年前ニ落成ス蓋シハ
 國大戦ノ勝利ヲ標スルモノニシテ高サ二十五間二尺

田中アリス
テカコルル
ノ圖列成ラサテ
故ニマコラ



利ニシ「顯理四世ノ銅像及ヒ
セ」河眺望ノ圖

興北英各

綠

文部省

アレクサンドリアノ門ノ圖



有リ四面彫鏤ノ神像ヲ以此邊尔都テ車馬ノ往来繁ク
 テ之ヲ裝リ頗ル奇觀ナリ
 七女羣集シテ繁華ヲ極メ夜ニ至レハ更ニ無數ノ瓦斯
 燈ヲ點シ晝日ニ異ナラズ他邦ヨリ始メテ来ルモノ皆
 誤リ認メテ祭祀ノ巷トナスニ至ル○此府市街屋宇ハ
 都テ高峻ニシテ五層六層或ハ七八層ニ至レリ多クハ
 皆大石ヲ以テ之ヲ重疊シ清潔峻麗盡サ、ル所ナク且
 一望一式ニノ他邦ノ如ク高低新舊相錯雜セズ故ニ寂
 モ觀望ノ美ヲ成セリ此府ノ幅員甚ダ大ナラズト雖モ
都府ノ上ニ數層ノ都府ヲ重テ築
キタルモノト謂フベシ蓋シ市中家屋ノ下層ハ墾子賣
人ノ肆店ニ屬シニ層三層多クハ富有ノ人之ニ住居シ
其ヨリ上ハ次第ニ卑賤ノ者ノ住スル所ニ係ル乃道路
チ貧富表裏ニ分タズシテ上下ニ分ツ者ト謂ベシ
 幅廣クシテ直達シ或ハ縱横環遠シテ車馬ノ絡繹タル

亦龍動ニ減ゼズ「ブルバール」ジタリヤン「リュー」ドリボリ
 「等」ノ街衢最モ繁盛雜沓ヲ極ム又所々横路ニ錢梁ヲ
 架シ玻璃ヲ以テ全ク之ヲ蓋ヒタル街道アリ雨中ト雖
 モ行人ノ群集ニ便ス其他歌舞場、旅店等ノ盛大美麗ナ
 ル歐洲ノ第一ニシテ筆頭ノ能ク詳悉スベキニ非ズ其
 地ヲ踏マザルモノ實ニ其一端ヲ想像シ難シ大ナル旅
 店ノ如キ一家ニシテ内部一千以上ノ室ヲ分チ皆華麗
 ヲ極メ便利ヲ盡サバルナシ又「ナシヨナル」書庫ノ如キ其
 蓄藏ノ富庶歐洲中第一トスル所ナリ印行書九十万餘
卷手寫ノ珍書八
 萬餘卷又廣ク貨幣古書ヲ蓄フ植物園、動物園、博物館、藏書院、調樂院、諸
 學校ノ盛大ニ至テハ逐一舉ルニ遑アラズ府下酒舖、食

店遊戯場等ノ夥シキ「他邦」ニ其比ヲ見ズ此府倫敦ニ
 比スレバ百物華麗整秀ニシテ其氣候ノ和煦ニ至テモ
 莫カニ之ニ優レリ其奢侈ノ風習ニ於テハ古來華美ヲ
 重シ士女艷麗ノ衣服ヲ競ヒ車馬ノ靚裝ヲ盡シ歌宴舞
 場夜ヲ以テ日ニ繼キ錦衣玉食世界ノ富貴人間ノ快樂
 ヲ盡セル地トイフベシ府下汚水ヲ掃除シ清水ヲ送り
每戸ノ飲糞ニ供スルノ結構極
メテ廣大ナリ全府ノ下地中ニ無敷ノ隧道ヲ設ケ錢
管ヲ裝置ス其景况現然市街ヲナセリ又府ノ南部司天
臺ノ近衛「カタコン」ト名クル地アリ上代人骨ヲ埋メ
シ所ニシテ其數幾千方タルヲ知ラス百年前之ヲ發見
シ今之ヲ鑿通セリ嚴トメ人骨ヲ以テ築
キタル市街ノ如ク共ニ地下ノ奇觀ナリ
 歌舞管絃、飲食、衣服都テ其奢侈ヲ極ムル此府ニ優
 ルモノナカルベシ故ニ歐洲各國皆之ヲ模擬シテ

適麗ノ風ヲ羨慕ス殊ニ婦人ノ衣裳并ニ髻髮頭帽
 ノ形状ノ如キ一タビ此府ニ於テ新様ヲ製出スル
 片ハ歐洲各國ニ波及シ人々競フテ之ヲ模倣スル
 ヲ免レズ恰モ都鄙ノ區別アルカ如シ英國ノ傲慢
ト雖モ女子
ノ風俗ハ皆巴黎ノ新様ヲ仰キ流布ノ
新聞紙等ニ模畫スルヲ以テ看ルベシ○巴黎郭外
 ニ「ブ」ヲデブロンヤト名クル園林アリ其間清流環
 リ注ギ風景清秀最モ幽勝ノ一區ナリ日々之ニ遊
 フノ士女肥馬輕車ニ駕シ雲集花簇陸續トシテ絶
 エス富盛ノ一斑ヲ見ルニ足レリ惜ムベシ今年普
兵京城ニ逼リ此
地ノ林木ヲ伐除セリ其他府中諸所ノ荒景ニ屬ス
ルモノ何レノ日カ舊ニ復スルヤ但シ其普兵ノ為
メニ毀損スル所多カラスト雖モ兩國和議ノ後内
亂ニ因テ燒止スル所甚夥シク殊ニ「チ」イレリ

及ビ「ク」ノ銅標等全
ク廢墟ニ屬セリト云フ
 此府ニ傍テ著名ナル「セーブル」ト名クル陶器ノ製作場
 及ヒ「ゴベラント」ト名クル花種ノ製作場アリ共ニ其精巧
 美麗ヲ盡セリ其陶器ノ如キ純白精良ノ器皿精撰ヲ經
 ルモノニ至テハ純金ト價ヲ等ウスルモノアリ或ハ五
 彩ヲ以テ山水人物花鳥等ヲ文飾シタル精巧絶妙ノ花
 瓶ノ如キハ數千弗ニ直スルモノアリ花種ノ製其模様
 宛然油繪ニ等シク一小室ニ展敷スベキ幅員ノモノト
 雖モ亦數千弗ニ非サレバ購得ベカラス五七名ノ良工
毎日一箇ノ花
種ニ從事シ五年七年ヲ歷テ始メテ成就スルニ至
ルモノアリ以テ奢侈ノ一端ヲ窺フニ足ルヘシ○巴
 黎ヨリ僅ニ二里許ヲ隔テ「ヴェルサイユ」宮殿アリ往時路

東土言

卷五

十五

文部省

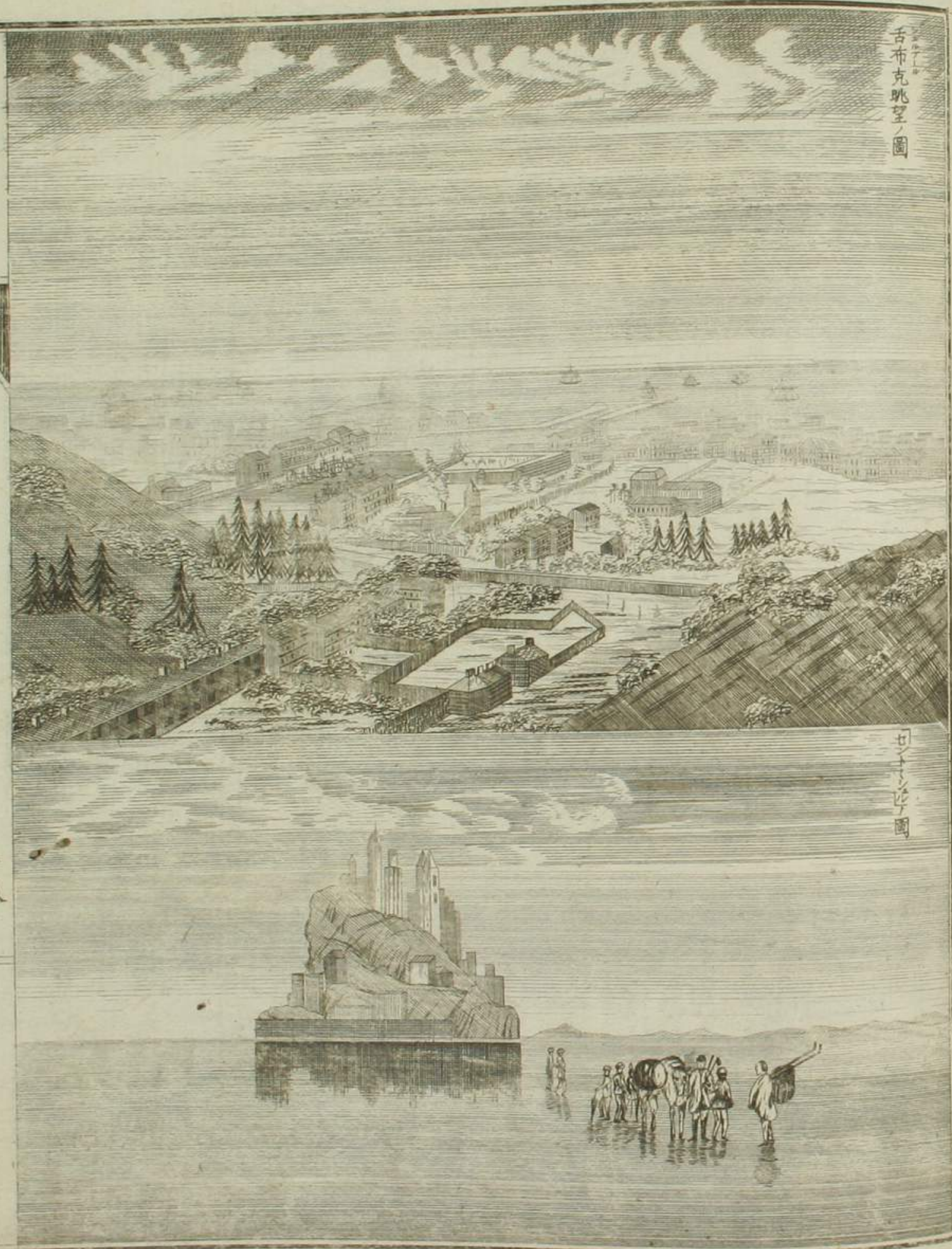
易諸王ノ都セシ所ニシテ結構壯麗ヲ極ム其中無數ノ名
 畫ヲ貯フ皆佛國ノ史籍ニ關係スル戦争等ノ圖ナリ周
 圍大樹蔭鬱タル庭園ニシテ繞ラスニ池水ヲ以テシ巨
 大ノ噴水器ヲ設ケ汽器ヲ以テ之ヲ動カス景色極メテ
 幽致ナリ巴黎ヨリ汽車ノ往復絶エス日々遊人雲ノ如
 シ普兵巴黎ヲ圍タル普王此
 官殿ヲ以テ本營トナセリ ○巴黎ヨリ東南「フランテ
 ンブロー」ノ地往時諸王ノ住セシ城堡アリ拿破崙一世
 ノ帝位ヲ退キ去ル時ニ兵士ニ別ヲ告ゲタル地ナリ
 此國都會ノ繁盛ナル者數多ニシテ其人口一万以上ニ
 至ル者百七十餘箇十方以上ニ至ルモノハ箇有リ令假
 ニ土地方向ヲ分チ其著名ナルモノヲ左ニ掲グ

中央部土地豊饒ニシテ平原河脈多ク居民穀類ノ耕種ヲ
 以テ主トス處々有名ナル古跡有テ勝景ノ地少ナカラ
 ズ ○ 疇尔良府人口五万四千餘往時疇尔良家統ノ諸王
 都セシ所ニシテ史籍ニ關スル古跡頗ル多シ其他都尔
 勒忙ルマシヤトル多盧不尔ブルクス日有名ノ大寺アリ 等皆屈指ノ都會ナリ
 西北部ハ國內ノ人烟最稠密ナル部ニシテ都會ノ大ナ
 ル者多ク製造ノ業更ニ開ケリ其中列黎亞眠リルヤミアン 哈非拉安ハイルアン
 比臘斯ブルスト的等ヲ以テ大ナリ也 ○ 列黎府人口十五万四
 千餘有リ比利時ト壤ヲ接シ堅固ナル城堡ヲ備フ麻布
 毛布砂糖等ノ製出盛ニシテ此產物ヲ貿易スルノ要地
 タリ鎮臺ノ築造古代ノ製ヲ存シ名畫ノ屋壁アリ ○ ド

ンキルク堅固ノ海港ニシテ此國最北ノ都會ナリ其他
 海岸ニ濱シタルカレ加雷アル亞拉斯ス補命シヤ等ノ埔頭アリ皆製造
 品多ク殊ニ沿海ノ兵備ヲ嚴ニス○カレ加雷ハ海岫ニ濱シ
 英國ト最近ノ港ニシテ對岸「ドールブル」ノ地ト其距離纔
 ニ九里岬角ヨリ之ヲ望ムキハ明ラカニ英岸ノ白キ巉
 崑ヲ見ルベシ毎日飛脚船ノ往來時刻ヲ差ヘス英佛往
 來ノ便ヲ達スル要地ナリ海中ニ電氣線二條ヲ通ス漁
 獵ヲ業トスルモノ多ク毛布及ビ線帶輕紗ノ如クノ製
 造場アリ此地往昔數英國ト戰爭ノ地ニシテ英王エドワ義德
 瓦四世ノ為ニ陷レラレ千三四七次デ二百十一年間英國ニ
 屬セリ近郊アジヤンクアルハ英王顯理五世トノ大戦ニ

ヨリ著名ノ地トナレリ○ラ安府ハ西北部第一ノ都會
 ニシテ人口十万五千餘市街佳麗ニノ貿易繁盛ナリ麻
 布毛布ノ大製作場有リ彼維廉ウレム一世ノ建設セシ大寺有
 リ又如安達克下ニ詳ノ銅像有リ此女子國家危急ノ日
 ニ當リ嘗テ義兵ヲ起シテアル疴尔良ヤンノ圍ヲ解キ漸ク英兵
 ヲ攘フニ至リシガ遂ニ敵兵ノ槍トナリ此處ニ於テ生
 ナカラ焼殺サレタルヲ令ラ去ル三百四十年前ニ在リ
 故ニ之ヲ追弔スル為ニ設ケシナリ此府ハブル哈非ト共ニ塞
 納河ノ下流ニ濱シ京城ノ海門タリ○シエル舌布克ハ峡中ニ
 突出シタル半島ノ海角ニ在リ佛國ノ西セバ巴士多ト魯ト
 名ク蓋シ此國第一ノ海岸炮臺有ルヲ以テナリ地勢英

國ニ面シ取モ要樞ノ海門ニシテ海軍場造船廠有リ海
 中ニ長堤ヲ築キ其内常ニ許多大軍艦ヲ碇泊ス有名ナ
 ル炮臺ハ拿破崙一世ノ建築セシ所ニシテ近來更ニ之
 フ増築シ大炮三千挺ヲ備フ十三年前英國女王巨大ノ
 軍艦隊ヲ將テ此地ヲ尋問セシ時拿破崙三世之ヲ迎ヘ
 海陸ノ大炮ヲ盡ク發シ黒煙數時港内ヲ掩フテ其操練
 フ試シハ暗ニ兩國海軍ノ強カラ比較セシ者ニシテ其
 形况實ニ耳目ヲ新ニスル盛會ナリシナリ○此處ヨリ
 南ノ方「アブランシユ」ト名クルノ地丘陵連接シテ海面
 フ眺望シ風景佳絶ナリ迄傍一里餘「セ」ミ「ヒル」ノ巉崿
 海中ニ突出シ周回二里許高廿四丈景色極メテ奇ナ



古布克眺望ノ圖

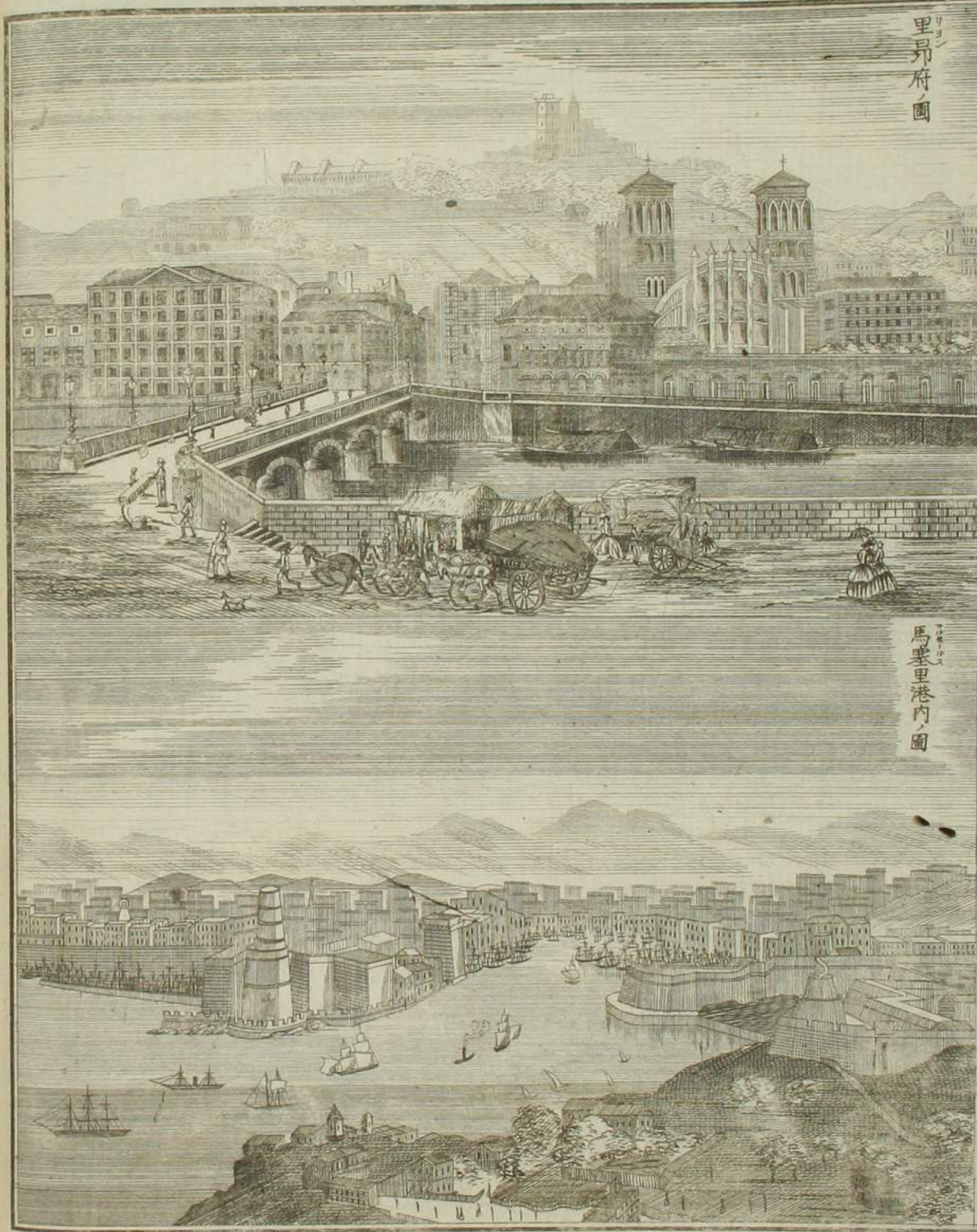
セミヒルノ巉崿

東地誌略

卷五

支那

里昂府圖



馬塞里港内圖

リ頂上ニ往時英國諸王ノ住セシ城堡アリ後寺院ト為
 ス海潮退クキハ淺斥ヲ涉リ徒行シテ達スベシト雖モ
 潮流ニ激スルキハ甚安全ナラズトス
 西部ノ中都會ノ盛ナル者ハ難得安惹爾波多都羅塞ヲ
 以テ大ナリトス田野葡萄ヲ培植シテ其酒ヲ釀出スル
 ノ地多ク甚有名ナリ○難得ハ西部第一ノ市場ニシテ
 人口十三万餘造船廠修船場有リ甚盛ナリ二百七十三
 年前新教ノ禁ヲ弛ベシ地ニメ最モ國史ニ關係ス其他
 羅舌勒羅舌縛等共ニ堅固ノ海港ニメ軍艦ノ碇泊場ナ
 リ○波多府ハ此地方第一ノ要地ニメ人口十九万二千
 餘有リ市街峻麗ニメ貿易盛ニ行ハレ外國ノ商船常ニ

輻輳ス近郊葡萄酒ヲ釀出スルヲ夥シク殊ニ此港ヨリ
 四方ニ輸出ス本年普ク戦争ノ後巴黎ノ動乱ヲ平グル迄ハ合衆政府此地ニ在リ○ベヨ
 ン最モ西南隅ニ在ル都會ニシテ西班牙ト貿易ノ要地
 タリ炮臺甚堅固ナリ小銃ノ首ニ附スル「パヨ」ト管テ此地ニテ發明セリ故ニ此名ヲ命ス
 ○都羅塞府ハ南部第一ノ大都會ニシテ人口十二万六
 千餘アリ古ヨリ文學盛ナル地ニシテ學校製作場多シ殊
 ニ盛大ナル大炮鑄造局アリ往時最モ繁盛ニシテ殆ト京
 城ト頡頏セリ此近衛五十七年前佛國大將「スール」英國
 ノ元帥維林敷ト大ニ血戦セシ所アリ○加爾加索内火
 酒及ヒ手套其他産物多シ
 東南部蠶桑ノ地ニシテ昂尼美斯馬塞里亞眠等ノ大都

會アリ以太利ニ界セル地方ハ山嶺海岸ヨリ連亘シ都
 テ峻峻ノ土壤多シ○尼美斯繁盛ナル貿易場ニシテ絹帛
 及總テ絹布類ノ製作品頗ル多シ毛布麻布ノ製造所亦
 盛大ナリ近郊桑田相連リ養蠶ヲ業トスル者甚多シ○
 アビギヨン又貿易繁盛ナリ○馬塞里ハ羅尼ノ河口ニ
 濱シタル地中海ノ港ニシテ東方貿易ノ要地ナリ國內第
 三ノ市場ニシテ人口近頃三十万ニ滿ツ上古二千五百年
 前ノ頃希臘人ノ初メテ殖民セシ地ニシテ次第ニ繁盛ニ
 至リ久シク文學ノ業ニシテ今ニ尚學校ノ建設甚多シ
 拿破崙一世ノ初メテ戦功ヲ顯ハシ次テ英名ヲ轟スノ
 開端ヲ為セシ地ナリ蓋シ大騷亂ノ時英國ノ兵ノ此ニ

據リシモノヲ掃攘セシナリ東洋ヨリ佛ノ飛脚船ヲ以テ歐洲ニ至ルニハ必ス此
 港ニ着ス殊ニ印土亞非利加ノ邊土ヲ過キテ初メテ歐
 洲ノ都會ヲ目撃スルカ故ニ街衢ノ清潔ニノ繁盛ナル
 築造ノ壯麗ナル共ニ取
 界ヲ一新スル所ナリ
 ○土命ハ馬塞里ヨリ東ノ方纔
 ニ六里餘地中海ニ濱シタル有名ナル海軍場ニノ人口
 八万八千有リ廣大ナル造船廠製錢場ノ盛ナル蒸氣巨
 艦錢甲船ノ夥シキ佛國海軍ノ盛大ヲ顯ハセリ○里昂
 ハ羅尼河ト「サロン」河ノ會流スル所ニ濱シ巴黎ニ次テ
 國內第二ノ盛都府ナリ人口三十二万四千有リ縮帛ノ
 製造最モ盛大ニノ歐洲ノ第一ト稱ス現ニ各地ノ都府
 ニ用フル綾羅錦繡都テ貴重ノ衣裳ニ製スルモノ多ク
 此處ニ出ツ大ナル文庫アリ近郊亦蠶絲ヲ出シ絹帛ノ

製造所多シ是ヨリ北ノ方拉安「サンカンタシ」及ビ哥
 馬耳等共ニ麻布ヲ製出スル「殊ニ夥ダシク極メテ佳
 良ナリ」○サンテチヤン「人口九万三千市街繁華ニノ製
 造所多ク殊ニ錢器小銃ヲ製出スル「夥シ」近傍石炭曠
 有リ○亞眠人口五万九千及「アベール」等ノ地毛布ノ業
 盛ニノ其精巧ヲ稱ス○哥肋諾伯勒酒類ノ貿易盛ニシ
 テ城堡甚堅固ナリ
 東北部ハ土地最豊饒ニノ又葡萄酒ヲ出スノ地多ク日
 耳曼ト界ヲ接シ「斯德拉堡」及「美的」ノ如キ此地方ノ兩大
 府ナリシカ方今境界ノ沿革ニ因ツテ共ニ日耳曼ノ板
 圖ニ入ル殊ニ美的ハ有名ナル堅固ノ城堡有リテ武器

庫ノ中平常十八万人ノ軍器ヲ整具シ百般ノ需用備ハ
ラザル無ク常ニ来因河畔武備ノ要地ト稱セリ今年陸軍將バ
ゼーレンスシク之ヲ維持ス ○囊西又綿帛衣類ノ製造所アリ洋紗綉
錦ヲ製出スル殊ニ有名ナリ ○レームス、ヴェルジユン、ロ
ンシユル馬内等皆屈指ノ市場ナリ ○西丹ハ比利時ノ
界ニ在リ人口一万四千往時久ク獨立ノ都府ナリシカ
路易十三世ノ時佛國ニ併セラレ
國內鐵道ノ盛ナルヲ別ニ記スルヲ要セス前ニ附スル
圖中ニ於テ其概畧ヲ窺フベシ又「モンセニ」ト名クル
山腹ヲ穿チ以太利ト自由ノ通路ヲ開ケルモノ近世歐
洲中大業ノ一ナリ此國界ノ地勢嶮峻ノ山嶽駢列シ鐵

道ヲ設ク可キ地勢ニ非サリシガ十九年前ヨリノ漸ク
業ヲ起シ七八年前ニ於テ更ニ新種ノ器械ヲ發明シ堅
牢ナル岩石ヲ穿通スルノ術ヲ得遂ニ甬道ヲ以テ山腹
ヲ洞貫スルヲ直經三里餘鐵道ヲ其中ニ通ジテ「チユリ
」府ニ達シ今年全ク成功ニ至レリ此創業多クハ以太
利政府ニ屬スルヲ以テ其詳ナルハ尚其條下ニ出ス
略史此國上古ハ哥爾ト名ル野民ノ住セシ地ニシ
テ和蘭及ビ日耳曼ノ西部ト一部ヲ為セシガ羅馬
ノ元帥該撒ノ之ヲ平定セシヨリ終ニ其板圖ニ屬
ス前五 降テ羅馬ノ勢漸ク衰ヘ千四百年前ニ及ヒ
歐洲各部ノ野民迭ニ遷徙セシ時ニ方リ維士哥多

ト名クル日耳曼内地ノ民種侵入シテ都羅塞ニ都
 ス次デ又佛蘭哥ト名クル民種来因河ヲ渡リテ比
 利時ノ邊ヨリ南侵シ居民及羅馬ノ屯兵ヲ驅除シ
 漸ク邦土ヲ拓ケリ其酋長美羅威ノ孫哥羅味數羅
 馬ノ兵及維士哥多ヲ破リ全國ヲ平定セルヲ以テ
 此國始祖ノ王ト稱ス一四ハ哥羅味王都ヲ巴黎ニ定
 メ更ニ洋教ヲ奉シ法度ヲ立テ漸ク開化ニ進メリ
 然ルニ繼テ王タルモノ皆暗弱ニシテ自ラ政ヲ治メ
 ズ累世酒ニ耽醜シテ王家ノ權次第ニ衰へ内臣漸
 ク威カラ擅ニシ竟ニ國ノ大權ヲ專ニスルニ至リ
 シガ其家強盛ナルモノヲ北比諾特里德ト名ク其

孫加爾祿馬德ニ至リ益政柄ヲ掌握ス時ニ回教ノ
 徒西班牙ヲ蠶食シ更ニ境界ヲ侵サントスルアリ
 加爾祿馬德邊へ撃テ之ヲ破リ益勢力ヲ振ヒ威權
 全ク一人ニ歸セリ其子北比諾爾布カニ至リ終ニ
 王位ノ禪リヲ受ク一七五其子查爾祿曼繼テ位ニ登
 リ勢威益盛大ヲ極メ兵ヲ出シテ四隣ヲ蠶食シ先
 世羅馬ノ尚板圖ニ歸スル能ハザリシ所ノ日耳曼
 地方ヲ攻伐シ當時強國ト稱シタル撒遜ト激烈ノ
 戰爭數回ニ及ビ終ニ之ヲ併吞シ又朗霸地ヲ滅シ
 テ以太利ノ大半ヲ平定シ更ニ西班牙ヲ撃テ數血
 戰シ漸ク板圖ヲ擴メ佛蘭西、比利時、和蘭、瑞西、日耳

曼ヲ包テ以太利ノ大半西班牙ノ北部ニ跨リ東海ヨリ厄波羅ニ至ルマテ廣大ノ地ヲ領セリ實ニ在昔羅馬ヲ除クノ外此ノ如キ至大至強ノ邦國ヲ為スモノアラズ又羅馬法王ノ加冠ヲ受ケテ終ニ帝位ニ登リ人民之ヲ尊シテ大帝ト稱スルニ至ル實ニ千七十一年前ニ在リ八百帝ノ人タルヤ威貌整嚴衆之ヲ仰テ震肅ヲ懷カザルモノナシ然レモ簡易ニノ小節ニ拘ハラズ舉動人意ノ表ニ出ルモノアリ且勇猛果斷軍モ善ク兵ヲ用ヒ兼テ法律政治ニ通達シ其志殊ニ洋教ヲ開クニ在リ其多年戰鬥ニ從事シ在位四十六年間千ガヲ動サズ莫大ノ人

命ヲ損害スト雖モ又カヲ教化ニ盡シ得ル所ノ地方盡ク學校寺院ヲ創建シテ技術ヲ勸メ更ニ至大板圖ノ法律政令ヲ改革セリ故ニ當初歐洲ノ文運ヲ進メシハ多ク此帝ニ因ルト謂フベシ一定ノ部クハ日耳曼ノ内エラシヤペルニ住セリ查爾祿曼帝卒スルノ後ルイス路易ルト雖モ庸劣ニシテ全國ヲ統轄スル能ハス終ニ之ヲ區劃シテ三子ヲ封ス然ルニ其勢相鬪キ互ニ兵ヲ交ヘテ殺傷無算全國更ニ平穩ナル能ハズ其歿スルノ後終ニ國是ヲウエルジユハニ議シ其境界ヲ定メ三大邦國トナセリ即チ佛蘭西フ以太利日耳曼ス是ナリ皆封建ノ制ヲ用

ヒ域内大小ノ侯伯互ニ土地ヲ分領セリ。○其佛國
 ニ王タル者查爾祿二世ト名ケ嗣デ數代ノ後一旦
 日耳曼帝查爾祿ノ管轄ニ属スル。丁四年八八終ニ
 之ヲ絶チ巴黎侯ユードラス暫ク王位ニ登ルト雖モ
 正統ニ非ザルガ故ニ久シカラズ。查爾祿三世位
 ニ即キ九二繼テ内訌止マズ其間回教ノ黨兵ヲ將
 テ西班牙ノ界ヲ越エ數侵入シ海岸ヨリハ諾爾曼
刑威ヨリ來ルノ海賊ノ侵掠ニ因テ國內靜寧ナラズ當時此
 海賊ノ勢甚熾ニシテ諸邦沿海ノ地其害ヲ蒙ラサ
 ルモノナシ佛國亦之ニ敵スル能ハス數敗衄シテ
 遂ニ西岸ノ地ヲ割キ和議ヲ講スルニ至ル即チ諾

曼的ト名クル地方是ナリ九百年。其君長タルモ
 據ス後チ維廉公ニ至リ英國ニ侵入ノ諸侯ノ如ク此國ニ割
 シテ之ヲ平定セシ。丁前ニ出ツ加之國內ハ大
 小ノ侯伯漸ク跋跨シ更ニ尾大掉ハザルノ勢ヲ為
 シ國政大ニ衰フ終ニ武額加頌多侯ナル者國權ヲ
 掌握シ王家ニ逼リテ位ニ登リシガ漸ク邦土ヲ回
 復シテ巴黎ニ都ス九八。嗣王數世豪邁強勇ナル者
 多ク數師ヲ興シテ十字軍ニ從事シ或ハ國內ノ猶
 太人ヲ驅リ其殘忍ヲ極メシ。アアリ降ツテ查爾祿
 四世ニ至リ其歿スルニ及ンテキ三近親ノ血統絶
 エ瓦羅義斯侯ヒッ非立六世其從弟ナルヲ以テ王位ニ
 登レリ然ルニ英王義德瓦三世曾テ前王ト姻姪ノ

親アルヲ以テ佛國ニ王タルベキノ論ヲ發シ遂ニ
 大軍ヲ起シテ國內ニ侵入ス蓋シ英王ノ論スル所
 正理アルニ非スト雖モ之ヲ口實トシテ爭端ヲ開キ
 繼テ兩國九十年間ノ戰爭ニ及ベリ其始メ國內又
 側ノ徒蜂起シテカヲ英國ニ併セシヲ以テ佛兵屢
 敗績シ加雷城ノ如キモ力盡キテ終ニ降ル此時全
 國殆ト英國ニ屬セントスルノ勢有リ繼テ約翰王
 ニ至リ又英兵トボウチエーニ戰テ大敗シ遂ニ擒
 ニセラルキニ五六因テ國內大ニ擾亂シ土寇蜂起シテ
 國勢大ニ衰フ繼テ加爾祿五世非常ノ英才ヲ以テ
 善ク將士ノ心ヲ得竟ニ頽勢ヲ挽回シテ漸ク英兵

ヲ掃ヒ加雷波多ベヨンヲ除クノ外盡ク邦土ヲ回
 復スルヲ得タリ又心ヲ勸學ニ止メ始メテ此國ノ
 書庫ヲ巴黎ニ建起ス藏書九百卷當時未ダ印行ノ
ニ威大ニ至リ現今世界同六世暗弱ニメ後官權ヲ
ノ第一ト稱ス前ニ出用ヒ政令衰頽スルニ方リ英王顯理五世大舉メ侵
 入シ激戰數回佛軍大ニ破レテ竟ニ之ニ抗抵スル
 能ハスアシシク其際國內ノ侯伯反復
 常ナラズ騷亂四起シ終ニ維持スベカラザルニ至
 リ漸ク和議ヲ講ズ蓋シ查爾祿六世卒スルノ後位
 ヲ英王ニ禪ルベキノ約ヲ定ム然ルニ其卒スルニ
 及ンデ十四前盟ヲ踐マズ查爾祿七世ヲ立テ王ト

ナス是ニ因テ忽チ復英兵ヲ被リ竟ニ土崩瓦解シ
 テ邦土皆英ノ蠶食スル所トナリ佛王未ダ即位ノ
 禮ヲ行フニ暇アラズ^{ホルレヤン} 疴爾良府ニ遁レ僅カニ近衛
 掌大ノ地ヲ維持スト雖モ英兵ノ之ヲ圍ム甚急ニ
 メ國ノ存亡實ニ且夕ニ迫レリ然ルニ奇異ノ際會
 ニ因テ此至危ノ大難ヲ拯フヲ得タリ蓋シ如安達
 克ト名クル女子民間ニ起リ其神明ノ加護ニ因テ
 必ス國家ヲ回復スベキノ命ヲ受ケタリト唱ヘ義
 兵ヲ舉ゲテ^{ホルレヤン} 疴爾良ノ圍ヲ^{ハル} 衝自ラ先登激戦シテ國
 王ヲ^レ トムスニ迎ヘ始メテ即位ノ禮ヲ行フヲ得
 一^千九^四 因テ國內勤王ノ兵四起シ次第ニ英兵ヲ掃攘

シ唯加雷ヲ除クノ外ハ全國盡ク舊ニ復スルヲ得
 タリ此ニ至テ累世ノ兵禍初メテ終リ爾後漸ク平
 穩ニ至リ嗣テ路易十一世暴戾苛虐ナリト雖モ稍
 王室ノ權ヲ盛ニセリ嗣王查爾祿八世^リ 貌利太尼侯
 ノ領地ヲ合併シテ更ニ強盛ニ至リ王威漸ク全國
 ニ及ボセリ^{蓋シ} 國內久シク大小侯伯ノ分轄ニ屬
 モ強盛ニノ^シ 就中不^レ 干^レ 的^レ 及^レ ヒ^リ 貌利太尼ノ兩侯家
 權ヲ握ニメ全國ニ^テ 跋^レ 跨^レ セシカ^ニ 當時^ニ 貌利太尼侯ノ
 血縁唯一女子有リテ^テ 查^レ 合^レ 祿^レ ハ^ニ 世^ト 婚^ス
 ルニヨリ邦土終ニ王家ニ^ニ 歸^ル セルナリ^嗣 テ^テ 路易
 十二世師ヲ以太利ニ出シ^テ 拿^レ 破^レ 里^ヲ 征^レ 伏^シ 壞國西
 班牙ト^ト 連^レ 合^シ テ^テ 威^レ 尼^ニ 西^ト 戰^フ 交^フ 然^レ 正^ニ 終^ニ 壞
 國ト相競フテ和セズ合從ノ盟約忽チ破レ互ニ兵

ヲ構フルニ至リ一度勝利ヲ得シト雖モ終ニ得ル
 所以太利ノ領地ヲ失ヘリ嗣デ法郎士一世位ニ登
 リ西班牙王查爾祿五世ト相競フテ日耳曼ノ帝位
 ニ登ラシトテ欲セシニ^{十五}十九^{十九}西班牙王其志ヲ得ル
 ニ依リ佛王憤懣ニ堪ヘズ終ニ戰端ヲ開キ自ラ將
 トノ以太利ヲ略セシガ終ニ大敗シテ擒トナリ^{十五}
 二^五轄ク西班牙ニ拘留セラル、ノ後漸ク放タレテ
 佛國ニ歸ルヲ得タリ既ニノ又西班牙ト釁ヲ構ヘ
 終世互ニ干戈ヲ動カシテ止マズ蓋當時歐洲全土
 世變興廢ノ期ニノ漸ク教法改革ノ争端ヲ開キ列
 國ノ英雄龍興虎躩東西相吞噬シ各地ニ於テ大戦

有リ後佛國亦新教ノ禁ヲ嚴ニシ之レガ為ニ國內
 ノ動搖少ナカラス爾來舊教ノ徒暴戾ヲ恣ニシテ
 新教ノ徒ヲ殺戮シ互ニ相仇視シテ内亂數世ニ亘
 レリ殊ニ查爾祿九世ノ時ノゴトキ不爾奔公顯理
 ト佛王ノ妹ト婚スルヲ賀スルカ為メニ國內ノ貴
 顯豪族ヲ盡ク巴黎ニ集會セシメセントバルソロ
 メ^{十五}祭日ノ名^{十七}ニ^七ノ曉ニ於テ卒然之ヲ襲撃シ貴賤男
 女ノ別ナク盡ク新教ニ屬スル者ヲ暴殺シ市街屍
 ヲ積ンデ山ヲ為セシ如キ滋其騷擾ヲ極メタリ嗣
 デ顯理三世ノ卒スルニ及ヒ儲君ノ位ヲ嗣グベキ
 モノ無キガ故ニ不爾奔公顯理ヲ迎ヘテ位ヲ繼ガ

シム之ヲ顯理四世ト歸ス英邁大度ニシテ材略有
 リ人望大ニ之ニ歸ス則チ新教ノ禁ヲ弛ベ難得ト府
初メテ令ヲ出セリ故ニ國以テ安ク殊ニカヲ盡シ
之ヲ難得ノ布告ト稱ステ學藝貿易ヲ鼓舞シ製造蠶桑ノ業ヲ開キタルニ
 ヨリ漸ク數世ノ亂ヲ經テ疲弊シタル國勢ヲ挽回
 セリ然ルニ其後暴徒ノ為メニ暗殺セラレ十六百
 其子路易十三世繼テ立ツ幼冲不才ニシテ自ラ政
 ヲ聽ク能ハス宰相リセリリ國政ヲ攝シ賢明ニノ
 善ク民ヲ安シ外交際ノ權ヲ重クシ内ハ文化ヲ進
 メ一時人材輩出シテ治教漸ク駸々タリ次テ路易
 十四世ニ至リ十六四三年五歳ニノ位ニ大ニ國都
即キ在位七十三年ナリ

ヲ修整シ官殿ヲ建築シ百事華美盛大ナラザルナ
 ク殊ニ有名ナル學者文人ヲ都下ニ網羅シテ文化
 ヲ贊成ス此時ニ方リ國富兵強ク其隆盛ヲ極ムル
 ニ至リ遂ニ板圖ヲ廣メント欲シ四出シテ攻伐ヲ
 務メ又日耳曼ヲ侵シ來因河畔ヲ蠶食ス此ニ於テ
 列國其強盛ナルヲ忌ミ英國、日耳曼、和蘭、西班牙等
 互ニ合從シテ之ニ抵抗シ大戦數度ニ及ヒ連年兵
 結ンテ解ケズ宰相「コルベルト」英才ニメ能ク其莫
 大ノ出納ヲ經紀スト雖モ涯リ無キノ費ニ給スル
 能ハズ加之國王益々奢侈ヲ極メ大ニ土木ノ功ヲ興
 シ威權ヲ以テ人民ヲ侵漁シ其形勢最モ君主專治

ノ甚シキニ至リ之カ為メニ國勢大ニ衰フ加之難
 得ノ布告ヲ廢毀シテ再ビ新教ヲ嚴禁セシヨリ無
 辜ノ人民ヲ殺シ或ハ之ヲ國外ニ放逐スルヲ八十
 萬人ニ及ビ學術製造ノ進歩ヲ妨害スルヲ限リナ
 ク路易十五世位ニ即キ一七五已ニ衰弊スルノ勢ヲ
 承ケテ之ヲ改革スル能ハス又奧國帝位ノ爭論ニ
 乘ジテ巴威里國バカウヲ助ケ數度日耳曼英國ト兵ヲ交
 ヘ五ニ勝敗アリ其後又一七五英國ト數爭鬪シ盡ク
 北亞米利加ノ領地ヲ英國ニ與ヘテ和議ヲ講ス路
 易十六世之ニ繼クニ及テ一七四國力已ニ疲弊シ其
 國債殆ント算ス可ラザルニ至ル殊ニ當時累世ノ

弊風門地ヲ貴ヒ貴族僧侶互ニ權威ヲ恣ニメ平民
 ヲ侵漁セシガ故ニ禍亂既ニ根抵シテ之ヲ如何ト
 モスベカラズ國王本善良ノ性質ニシテ德行ノ君
 子タルノミナラズ善ク諫ヲ納レテ人ヲ用フト雖
 モ游優不斷ニシテ確乎タル裁決ニ乏シク故ニ或
 ハ賢材ヲ登用シテ政令ヲ改革シ或ハ宮中ノ奢侈
 ヲ限制シテ會計ヲ補ヒ勉メテ國家ヲ安レゼント
 欲スト雖モ大厦ノ將ニ傾カントスル一木ノ能ク
 支フ可キニ非ラズ且ツ近世鴻儒ノ著述廣ク世ニ傳
 播シテ人民ノ智覺暗ニ進歩シ自主自由ノ權ヲ知
 ルカ故ニ豈亦君主專治ノ下ニ屈シテ貴族ノ抑制

ヲ受クベクンヤ殊ニ當時米國ノ英ニ反シテ獨立
 スルニ方リ佛人ノ之ヲ扶ケテ海外ニ戦ヒシ者兩
 國和議ノ後國ニ歸リ益人民同等ノ説ヲ主張シ將
 ニ一大動亂ノ端ヲ開カントス此ニ於テ佛王再ビ
 前宰相「チツタル」ノ官ヲ復シ其説ニ從ヒ全國人民
 ノ代議士ヲ集會シ國是ヲ定メ大ニ政制法律ヲ改
 革セントス蓋シ從來國民ヲ貴族僧侶平民ノ三等
 ニ別カチ租稅ハ盡ク平民ニ取リ貴族僧侶ハ游食
 シテ其上ニ位セシガ今次其權ヲ平均セント欲ス
 ルナリ然ルニ其「ウエルサイユ」ノ大集會千七百九十ニ當
 ツテ貴族之ヲ辯駁シ議論竟ニ協ハズシテ互ニ黨

與ヲ為シ紛擾止マズ次デ過激ノ民政黨蜂起シテ
 政府ニ逼リ國王ヲ脅シ強テ國憲ヲ創立セシメ遂
 ニ君民共治ノ國ト定ム又貴族ヲ廢シ封建ノ制ヲ
 敗毀シ寺院ノ領地ヲ没入セシム千七百九十然レモ擾亂
 尚止マズ黨與ノ最過激暴戾ニノ推カアル者ヲ「ジ
ヤコビン」黨ト名ケ其巨魁ヲ「ロベスピエ
ールト」其明年即チ今ヲ去ル七十九年前ニ於テ終
 ニ盡ク土崩瓦解シテ大騷亂トナリ其華麗ヲ極メ
 タル京城ノ地ハ忽チ變シテ修羅ノ巷トナリ國王
 ヲ弑シ貴族僧侶ヲ屠リ各黨互ニ相殺弑シテ朝野
 人肉ヲ饜スルニ至ル其殘忍暴戾ナルヲ實ニ歷代
 未タ曾テ有ラザル所ナリ其屠殺スル所ノ數多シ
キガ故ニ「ギョラント」ト名

興地志各
 卷五
 三十一

クル器械ヲ處々ニ創立シ日ニ數千人ヲ斬首
 セリ列ラーステラコンコルド^ド等ノ地ニ設ク激徒
 終ニ政權ヲ握リ合衆政治ト為スト雖モ此黨斃レ
 テ彼黨之ニ代リ内亂止マズ其間屢代議士ヲ集會
 シ國憲ヲ改革スルヲ舉テ算フベカラス然ルニ墺
 普英等諸國兵ヲ起シテ佛國ノ王家ヲ回復セン
 ヲ謀リシカ佛國合衆政府ノ兵邊へ擊テ之ヲ破リ
 更ニ和蘭瑞西及日耳曼ノ一部ヲ蠶食ス時ニ拿破
 崙^{ナポレオン}勃那把爾的^{即第}一^世千古無双ノ英材ヲ以テ尚二十
 七歳ニシテ將帥ノ任ヲ受ク以太利ニ侵入シ
 九^千七^百六^十
 墺國ノ兵ヲ破ル^ル數回向^ク所敵無ク更ニ英國東
 印土ノ領地ヲ奪ハント欲シ埃及ニ攻入り大ニ尖

塔ノ近傍ニ戦ヒ卒ニ改羅ヲ平定ス
 九^千八^百八^十時ニ列國
 ノ兵再ビ連合シテ境界ヲ侵シ佛兵數敗績シ國內
 ハ合衆政府ノ頭領其人ヲ得ズ大ニ動搖スルニ方
 リ拿破倫此機會ニ投シ急ニ埃及ヨリ國都ニ歸リ
 卒然兵力ヲ以テ合衆政府ノ黨ヲ散亂セシメ新ニ
 政府ヲ開キ憲法ヲ定メ自ラ大統領トナリ全國ノ
 權ヲ掌握ス
 九^千七^百九^十此ニ於テ屢列國ノ鋒ヲ挫折シ以
 太利ヲ蠶食シテ
 不意ニ亞^ル伯^スノ山道ヲ越ニ大ニ
 一^最有名ノ
 威武益振ヒ人望漸ク之ニ歸ス因テ遂
 ニ佛國ノ帝位ニ昇レリ
 百^千八^百四^十其翌年英國魯國墺普
 瑞典ノ諸國合同シテ又佛國ヲ攻撃セントス拿破

崙自ラ大軍ニ將トシテ日耳曼ニ造リヲーストル
 リツノ大戦ニ於テ盡ク合従ノ兵ヲ破ルヲ得タリ
 次テ和議ヲ構シ墺國ヨリ威尼西ノ地ヲ割テ佛ノ
 領地ニ歸ス然ルニ^{千ハ}又普國ヲ始メトシ列國合
 従シテ復ヒ兵ヲ舉グルト雖モ拿破崙兵力強盛當
 ル所前ナク破竹ノ勢ヲ以テ直チニ日耳曼ニ入り
 宛モ無人ノ境ヲ行クガ如ク遂ニ普國ヲ平定ス又
 墺國ト戦ツテ直チニ其國都ニ入り邦土ヲ割テ和
 議ヲ講シ墺帝ノ女ヲ納レテ后妃トナス當時佛帝
 ノ威力殆ント歐洲ノ大半ヲ壓伏シ總テ其意ノ如
 ナラザル無日耳曼ノ如キ古來相傳ノ帝位ヲ廢シ

来因河畔ノ諸國ヲ連合シテ藩屏ト為シ和蘭西班
 牙拿破崙等ノ如キ其支属ヲ封シテ王ト為シ皆其
 板圖ニ等シキモノ歐洲ノ西南ヲ包テ中央ニ蔓延
 シ各國之ヲ懼ル、^{虎ノ}如ク從テ全洲ヲ混一セ
 ント欲セシニ只英國ノ如キ地勢海岔ヲ隔テ海軍
 ノ之ヲ攻ムルニ足ルナキヲ以テ其貿易ノ利ヲ殺
 シテ國カラ衰耗セシメント欲シ大陸條例ト號ス
 ル法ヲ立テ撥ラ各國ニ傳ヘテ英船ノ入津ヲ禁シ
 一切英國ノ品物ヲ用フ可ラザルヲ令ス然ルニ魯
 國潛ニ此令ヲ奉ゼス此ニ於テ拿破崙魯國ニ戰書
 ラ贈リ自ラ大軍^{歩兵四十万、騎兵六万、大砲千二百門}ニ將トシテ魯

國ニ侵入ス千ハ拔山倒海ノ勢到ル所朽ヲ拉スル
 ガ如シト雖モ魯軍亦防戦最烈シクボロジノ大
 戦ノ如キ兩軍合セテ三萬人ノ死傷ヲ算ルニ至ル
 終又之ヲ破リ晚秋ニ臨ミ其國都墨斯科モスコニ入ル此
 時已ニ天寒ク雪滿チテ凍冽ニ臨ムガ故ニ此都ニ
 於テ融和ノ候ヲ待ントセシニ豈圖ランヤ魯人自
 ラ全都ヲ燒亡シテ退キタレハ屋宇ノ寒ヲ蔽フヘ
 キナク薪水ノ給スヘキナシ非常雄邁ノ拿破崙ト
 雖モ之ヲ如何トモスル能ハス乃チ軍ヲ令シテ退
 カントスルニ方リ北地ノ寒氣最モ烈シク堅氷大
 雪既ニ道路ヲ埋没シテ兵馬凍饑ニ斃ル者數ヲ

知ラズ魯軍機ニ乘シテ四面ヨリ之ヲ掩襲シ殺傷
 無算追撃止マズ其酷烈ナルヲ歴史ノ未ダ曾テ見
 ガル所ナリ終ニ大軍概テ道ニシテ死区シ其魯國
 ノ界ヲ出ル者僅ニ三萬人ニ過ギス拿破崙亦僅カ
 ニ殘兵ヲ率井テ漸ク巴黎ニ逃レ歸リ新タニ又三
 十五萬ノ兵ヲ募リテ翌春復ヒ陣頭ニ現レシガ普
 國魯西亞シヤニカヲ合セテ之ヲ邀ヘ繼テ瑞典スウェーデン奧國及
 ヒ日耳曼列國皆兵ヲ擧ケテ佛兵ニ抗ス蓋シ列國
 ノ合從之ヲ第五回トス此ニ至リ大ニライブシク
 ニ會戦シ兩軍合セテ四十餘萬人三晝夜ノ激戦ニ
 於テ死傷スルモノ四萬人ニ過ギタリ十八遂ニ佛

兵大ニ敗績シテ國界ニ退キ拿破崙更ニ憤戦シテ
 士卒ヲ勵マシ防禦スト雖モ漸々ニ縮退シテ八方
 ヨリ蟻集スル強敵ヲ支フルヲ能ハス終ニ遁レテ
 巴黎ヲ守ルニ至リ列國踵イテ之レヲ圍ミ國都ニ
 入り千ハ更ニ合議シテ拿破崙ノ帝位ヲ黜ケ地中
 海ノエルバ嶋ニ配シ路易ルイス十六世ノ弟ヲ立テ、王
 トシ之ヲ路易十八世ト名ク此ニ於テ各國皆全權
 公使ヲ塙都維也納ニ會シ集議ノ後其侵地ヲ各國
 ニ復シ境界ヲ定ム此會盟翌年ノ春ニ至リ未夕散
 セサルニ拿破崙潛ニエルバ嶋ヲ遁レ出テ突然海
 岸ニ上陸シ忽チ一萬一千ノ兵ヲ集メテ直チニ國

内ニ入ル然ルニ其名望既ニ世ニ普キガ故ニ人民
 之ニ響應シ佛王將帥ニ命シテ之ヲ防禦セシムト
 雖モ皆戈ヲ倒ニシ之ヲ迎ヘ數日間ニシテ已ニ大
 軍トナリ巴黎ニ逼リ國王ヲ逐ヒ再ヒ帝位ニ昇ル
 ニ至レリ其瞬速ナルヲ上陸ノ日ヨリ僅ニ三十日
 ヲ出テズ此急報忽チ四方ニ傳テ殆ント全洲人民
 ノ膽ヲ破ルニ足ル然ルニ各國會同ノ公使尚塙都
 ニアルヲ以テ直チニ戰書ヲ佛國ニ贈リ更ニ列國
 ノ大軍ヲ聯合シテ之ニ向フ拿破崙亦軍ヲ比利時
 ニ出シ華德路ノ地ニ於テ千ハ兩軍大ニ鏖戦ノ後
 佛軍終ニ敗走ス列國ノ兵再ヒ巴黎ニ侵入シ衆議

終ニ拿破崙ノ位ヲ黜ケ遠ク亞非理加洲ノ孤島ニ
 厄里那ニ配シ後六年此地ニ卒再ヒ路易十八世ノ
 位ヲ復シ漸ク兵ヲ解クニ至レリ蓋シ拿破崙ノ初
 メテ將帥ニ任ジテヨリ再ビ帝位ヲ退クニ至ル迄
 僅カ十九年間ニシテ此大業ヲ成シ殊ニ匹夫ヨリ起
 リテ歐洲ノ全土ヲ蹂躪シ各國息ヲ屏メテ其威武
 ニ伏從セシハ豈蓋世ノ英傑ト謂ガル可ケンヤ彼
 歴山王アレキサンデル、セサル該撒ト共ニ并稱スト雖モ歷撒ノ如キハ往
 昔ニ在テ概テ蒙昧ノ野蠻ヲ征伏セシニ過キザル
 ノミ古令ノ形勢ヲ比較スルハ其難易甚懸隔ス
 ト謂フベシ故ニ若シ魯西亞ノ大敗無カラシメバ

竟ニ殆ント字内ヲ混一スルニ至ルモ未タ知ル可
 カラズ但其霸業ノ為メニ權カヲ專ニシテ幾許萬
 ノ生靈ヲ損害セシハ固ニ歎ス可シトイヘトモ其
 舊弊ヲ一洗シテ法ヲ後世ニ垂レ開化ヲ助ケ學術
 ヲ進ムルニ於テハ其功亦莫大ニメ逐一之ヲ舉グ
 ルニ暇アラズ殊ニ其撰定スル所ノ法律書ノ如キ
 ノドナポレノシ是ナリ萬世不朽ノ龜鑑ト稱スベク後人皆
 之ヲ仰ガザル無シ○此後數年中外稍無事ナリシ
 カ次テ國民黨與ヲナスノ勢盛ニシテ一ハ國王ノ
 權ヲ限制セント欲シ一ハ威權ヲ以テ強テ衆庶ヲ
 壓センヲ主張シ相競フテ止マズ嗣王查理斯十

世位ニ即クニ及ンテ益威權ヲ挾ミ屢議院ノ官員
 ヲ黜ケ終ニ新聞紙ヲ禁シ代議士ヲ選抜スルノ法
 ヲ變革スルニ至リ四十一年前三十八再ビ内亂巴黎
 ニ興リ衆庶皆兵器ヲ携ヘテ政府ニ逼レリ政府モ
 亦兵力ヲ以テ之ヲ壓セントスレモ國民ノ兵勢益
 強大ニシテ連日血戦ノ後セリ内亂終ニ政府ヲ壓
 倒シ國王ヲ廢シ議院ノ會議ニ於テ更ニ荷里安侯
 ヲ立テ王位ニ即カシム之ヲ路易非立ト名ク其後
 漸ク平穩ニシテ文化ヲ進メ製造貿易ヲ勵マシ且
 ルセリヤヲ平定シテ領地ヲ増加シ殊ニ國王前代
 ノ覆轍ニ鑑ミテ稍威權ヲ擅ニセズト雖モ國民ノ

自由ヲ抑制スルノ政令亦少ナカラズ是ニ因リ國
 内戦競シテ黨與相争ノ勢猶衰ヘズ二十三年前八
 四 騷亂再ヒ興リ各黨互ニ相殺戮シ巴黎ノ街上復
 八 々屍ノ山ヲナスニ至レリ路易非立ト名ク其後
 ヲ棄テ、英國ニ遁ル此ニ於テ民政黨終ニ大權ヲ
 握リ國ヲ合衆共治トナシ全國ノ代議士ヲ會シテ
 憲章ヲ定メ路易拿破崙ヲ推テ大統領ト為ス即チ
 拿破崙第一世ノ甥ニシテ先王ノ代曾テ囹圄ノ中
 ニ拘セラレ其後遁レテ久シク英國ニ在リシカ此
 度ノ騷亂ニ因テ再ヒ國ニ歸リ民政黨ニ加ハリ最
 出群ノ譽レアリシニ因リ終ニ此撰ニ登レリ然ル

ニ人望漸ク之ニ歸シ初メハ四年ノ任限ニ定メシ
 ガ期滿ルニ及ンデ遽ニ權カヲ用ヒ議院ヲ解散シ
 憲法ヲ改革シテ十年ヲ期シ漸ク國內ヲ鼓舞シテ
 帝國ニ復スルヲ希望セシメ私ニ人心ヲ攬シ更ニ
 人民ノ投票ヲ以テ終ニ帝位ニ登リ拿破崙第三世
 ト號ス其初メ民政ヲ主張シテ人望ヲ得騷亂ヲ鼓
 舞セシト雖モ一旦志ヲ得ルニ及ンテ威カヲ逞シ
 羣下ヲ歷馭スルヲ以テ之ヲ仇視スル者亦少ナカ
 ラス然レモ非常ノ英材ヲ以テ政權ヲ掌握シ外ハ
 列國ニ對シテ國威ヲ輝シ内ハ文化ヲ進メ製造貿
 易ヲ盛ニシテ國カヲ養ヒ次第ニ治安ヲ得テ國富

兵強ク終ニ歐洲ノ盟主タルカ如ク各國震懾ヲ懷
 カサルモノナシ彼ノ魯西亞ノ土耳其ヲ侵スニ當
 リ英國ト合從シテ魯國ヲ伐チ千八五四ヨ有名ナ
 ル西巴士多トノ堅城ヲ陷ルニ至リシハ實ニ佛
 國ノ力半ニ過グ其後千八百五十九撒丁ヲ助ケテ奧國ト三
 大戦ヲ為シ大ニ之ヲソルズリノニ破リ境界ヲ東
 ニ廣メボウ益強盛ニ至リ其志肆然トシテ歐洲
 ヲ睥睨セリ然ルニ輓近普國稍ク盛大ニ至リ佛國
 ト頡頏ノ勢ヲ為スヲ嫉ミ之ヲ抑ヘント欲シ客歲
 西班牙王位ヲ普王ノ親族ニ傳フヘキノ論ヨリ六
 月中旬其和親ヲ破リ自ラ四十萬ノ兵ニ將トシテ

来因河畔ニ進發シ普王亦南北日耳曼ノ兵ヲ合シ
 六十萬ノ大軍ヲ將井テ之ニ抗ス普佛針銃ヲ角シ
 或ハ蜂窠炮ミトラリユース共ニ第四卷ニ
器圖ヲ出セリト名クル火器ヲ用ヒ互
 ニ新製ノ銃炮ヲ以テ殺傷無算屢来因河畔ニ於テ
 酷烈ナル戦争ヲ為セリ佛軍ハ曾テ精銳驍勇ノ名
 ヲ轟カセシト雖モ其或ハ人心ノ一和セザルヨリ
 兵力紛紜意ノ如クナル能ハス且常備兵ノ外多ク
 ハ急募ニ應ゼズ普軍ハ近年墾地利ノ戦争以來勝
 ニ乘シタル衆ヲ鼓舞シ新種ノ戦法ニ從ツテ銃ヲ
 一途ニ鞏メ向フ所前ナク次第ニ佛軍ヲ縮却ス此
 ニ於テ佛將「バゼー」又三軍ヲ指揮シテ美的ノ城堡

ヲ退キ守リ佛帝ハ大将「マクマホ」ト共ニ「セダン」
 ニ退キ共ニ屢軍ヲ出シテ襲撃スト雖モ普兵之ヲ
 圍ムト急ニシテ終ニ支ル能ハズ八月七日佛帝十
 万ノ将卒ト共ニ普軍ニ降レリ此ニ於テ京城巴黎
 忽チ大ニ沸騰シ議院ノ集會ニ於テ衆鼓噪シテ國
 ヲ合衆共治ト定メ之ヲ國內ニ布告シ假ニ政府ヲ
 建テ陸軍將「トロシユ」巴黎ノ鎮臺ヲ以テ軍務ヲ
 指揮シ大統領ニ任ジ「シユール」ハ「ブル」ハ外國事
 務ヲ司リカヲ盡シテ大敵ヲ防禦セントス然ルニ
 普兵「セダン」ヲ陷ルノ後益破竹ノ勢ヲ以テ軍ヲ數
 部ニ分チ國內ニ侵入シ漸ク巴黎ニ逼リ殊ニ日耳

曼新召ノ兵次第ニ到着シテ勢威大ニ震ヒ其佛國
 内ニ駐ルモノ既ニ百餘万ニ至リシガ次デ八月下
 旬ヨリ大軍巴黎ヲ圍ミテ立錫ノ地ヲ遺サズ佛軍
 纔ニ輕氣球ヲ以テ他州ト消息ヲ通ズルニ過キズ
 又美的ノ堅城モ久シク普軍ニ圍マレ大將「バゼー
 ヌ」十七万三千ノ精兵ヲ擁スト雖モ更ニ死ヲ決シ
 テ其圍ヲ解ク能ハズ十月三日將卒共ニ普ノ軍門
 ニ降レリ繼テ巴黎ノ攻撃次第ニ烈シク數月間防
 戦ノ後食盡キ力窮リ終ニ集議シテ休戦ヲ乞ヒ「ア
 ルサス」「ロルレーン」ノ地ヲ割キ九億三千万弗ノ償
 金ヲ三年間ニ出ス可キヲ約シ本年正月八日終ニ

城ヲ開テ和議ヲ講スルニ至レリ其間波多府ニ一
 ノ黨與起リ會院ヲ建設シテ巴黎ノ政府ト協ハス
 尚普ニ批セン「ラ」ヲ主張セシガ終ニ戦争トナルニ
 及ハズシテ止ム又普佛和約成リ兵ヲ解クノ後合
 衆政府ヲ「ウエルサイユ」ニ移シ更ニ全國ノ代議士
 ヲ會シ「チエール」氏ヲ以テ政府ノ總裁トシ假ニ大
 統領ニ任ゼシガ黨與分裂シテ靜寧ナル能ハズ逆
 徒蜂起シテ巴黎ニ據リ政府ニ批シ屢「ウエルサイ
 ユ」ヲ襲撃ス 皆無頼ノ暴徒ニシテ「レットレブ」リ
 カント名ク歴代此國ニ固有ナル都下
 ノ騷擾ハ皆此徒 政府ノ兵撃テ之ヲ却クルト雖モ
 ヨリ端ヲ發ス 尚鎮定スルニ道ナク終ニ議ヲ決シ兵力ヲ以テ巴

興也志略 卷五 四

黎ニ逼リ殺傷無算復タ街上ニ屍ヲ堆積シ始メテ
 之ヲ鎮定スルニ至レリ其暴徒力極ルニ及ビ火ヲ
 放ツテ府内ヲ騷擾シ有名ナル建築市街ヲ燒亡ス
 ルヲ數ヲ知ラズ終ニ華麗ノ都城半灰燼ニ属スル
 ニ至リシハ實ニ遺憾ト謂フヘキノミ 廢帝拿破崙
 普ニ降ルノ
 後久シカラズノ英國ニ周遊スト云フ 爾後國內兵
 蓋普王ニ誓ヒテ其許可ヲ受ケシナリ
 禍始メテ熄ムト雖モ合衆政府ノ能ク幾世ヲ保全
 スベキヤ未ダ知ル可ラズ蓋シ其黨與ノ相仇視ス
 ルモノ依然トシテ衰ヘズ廢帝及ビ前王兩家ノ子
 孫 病里安及ビ
 不尔奔家系 現ニ隣邦ニ流寓ス豈危カラズヤ抑
 黨與ノ勢事ニ黨セズシテ人ニ黨スルモノハ不祥

之ヨリ甚シキハ無シ佛國ノ如キハ世人毎ニ文明
 開化ヲ以テ稱スト雖モ八十年間ニ十回政府ヲ覆
 シ國體ヲ變更スルモノ他邦ニ其類ヲ見ス嗚呼文
 明開化ト稱スルハ果シテ其衣服飲食歌舞宴遊ノ
 間ニ存スルカ

佛國近世ノ政制沿革左ノ如シ

- 一七十九年前迄 君主專政路易十
 六世ニテ終ル 一 同年至七年間 千七百九
 同九九年マテ 合衆國
- 一次デ五年間 千七百九
 千八百四マテ 合衆國 拿破崙
 一 一次デ十年間 千八百四
 同十四マテ 帝國
- 一次デ三月間 千八百四
 同十五マテ 王國 路易十
 八世 一次デ二月間 同
 年 帝國 拿破崙
 一世
- 一次デ十五年間 千八百五
 同三十マテ 王國 路易十八世
 查理第十世 一次デ十年間 千八百
 同四十八マテ 王國 立憲路
 易非立
- 一次デ二年間 千八百八
 同五二マテ 合衆國 路易拿
 破崙 一次デ十八年間 千八百五
 同七十七マテ 帝國 拿破崙
 三世

一次今年ヨリ千八百七十合衆國

○和蘭

本來國號ヲニヤセルラント尼達蘭ト稱ス低地然レ其域内和蘭州ノ
 部最モ要領ニ居ルカ故ニ通常之ヲ和蘭ト稱ス猶大貌
 利太ヲ英吉利ト稱スルカ如シ○此國ベルジウム比利時ト共ニ往時
 ハ一國ニシテ且二百餘年前合衆共治タリシ時ニ方テハ
 其勢最モ盛大ニシテ歐洲中至強ノ邦國タリ近來ベルジウム比利
 時獨立シテ更ニ小國トナルト雖モ尚海外ニ許多ノ領
 地ヲ有シ闔國富饒ニシテ文化最モ洽ク君民共治ノ政
 令全ク名實ニ及カス人民ノ自由ヲ得タル最モ幸福ノ
 國ト稱ス可シ境界ハ西北ノ方イルス北海ニ濱シテ英國ニ對
 シ東ハ日耳曼ニ界シ南ハベルジウム比利時ニ接ス其幅負二千二

百六十方里ニシテ人口三百七十三万餘有リ又北海ヨリ大ニ灣環澳入シタル内海有リ之ヲ南海ト名ク地勢都テ平坦ニシテ低地多ク往々海面ヨリ低クシテ堤防ヲ作り漸ク海水ノ侵入ヲ防ク處アリ哥羅凝俺及ヒ非里薩蘭ノ海岸其他南海ノ週廻等比々此設有ラザルナシ或ハ巨大ノ磐石ヲ沈メ無數ノ杭ヲ建テ土石ヲ盛リ巧ニ海水ヲ防クト雖モ波濤激衝シテ或ハ之ヲ壞崩スルコトアリ故ニ數百里ノ海岸此堤防ヲ修理シテ常ニ之ヲ護ルカ為ニ其費ス所歲々百八十万弗ヲ以テス○地勢平低ニシテ全國山脈ヲ見ス中央ヨリ東北ノ部間丘陵アリト雖モ山ト名ク可キモノニ至ラス幽叢深林ノ如

和蘭利時兩國全圖



安特堤ノ図



海牙府ノ図



キハ稍小ナルモノ有リト雖モ亦至テ稀ナリ河派ハ多ク源ヲ日耳曼地方ニ發シ西北ニ流レテ海ニ注ク其大ナルモノ来因^{ライエン}、^{ミュニッヒ}、^{マース}、^{ワスデル}等ナリ江渠ハ國內ニ互リ都府村落ニ至ルマテ相通セサルノ地ナク貨物ノ運輸最モ便ナリ安特堤^{アムステルダム}ノ如キ大船皆南海ニ回ラスシテ直ニ北海ニ往來ス可シ地形一般ニ平坦ナルカ故ニ至ル所皆江渠ハ江渠ノ水流堤上ヲ通シテ小船ノ平地ヨリ高ク往來スルアリ仏人ノ之ヲ凸形ノ江渠ト名ク國內ヲ九州ニ區分ス即チ南^{サウス}和蘭^{ホランダ}北^{ノース}和蘭^{ホランダ}西蘭^{ウェスト}島^{アイランド}特立^{トリス}北^{ノース}巴班^{ババント}給^{ギット}德^{デル}蘭^{ランド}非^{フリス}里^{リス}薩^{ザン}蘭^{ランド}德^{デル}倫^{レン}疴^ケ威^{ヴェ}立^{リス}塞^{リス}哥^ゴ羅^ロ凝^ネ俺^エ是^{リス}ナリ又日耳曼部内ニ在ル林堡^{リンボウ}及ヒ盧森堡^{ルゼンボウ}ノ一部共ニ此國ニ屬ス○西蘭ハ水派更ニ多ク殊ニ豊饒ナル地方ニシテ

開墾最モ遍シ然レ氏堤防ヲ設クルカ為ニ每ニ巨萬ノ財ヲ費シ人民之ニ疲勞ス非里薩南荷蘭モ亦最モ能ク開墾セル地方ナリ徳倫給徳蘭及ヒ林堡等ハ國內ノ高地ニ屬シ南北荷蘭西蘭ハ殊ニ低地ニ屬セリ氣候ハ寒冷ニシテ多ク陰濕ヲ帶フ然レ氏甚夕健康ヲ害スルニ至ラス國內肥饒ノ地多ク耕種牧畜ノ業盛ニシテ殆尺地ヲ遺サス其渚澤及ヒ瘠土未夕開墾ニ至ラサル地ハ全國表面五分ノ一二過キス人口ヲ平均スル時ハ比利時ニ及ハスト雖モ亦歐羅巴中ニ於テ最モ人烟稠密ノ地方ト謂フ可シ國內繁盛ノ都會ハ安特堤鹿特堤ヲ以テ二大府トシ海牙ハ甚夕大ナラスト雖モ京城ノ地夕

リナリ 其他鳥特立 人口五万五千
 ハールレム 人口二万五千
 哥羅羅 人口三万五千
 マーストリクト 人口三万

十等ノ都會皆屈指ノ一ナリ各府ノ市街多クハ靜閑ノ百事質樸ノ氣象ヲ帶フ

國民ノ本業ハ貿易牧畜ヲ以テ本トシ製造之ニ次キ農

事ハ其主トスル所ニ非ラス○五六年前ノ算計ニ從フ

ニ商船ノ數一千九百七十六隻アリ此輸出入ヲ合算ス

ルニ三億餘萬元ニ過ク輸出品ノ第一ナルモノハ牛、羊

豕、牛酪、乾酪、烟草、麻布、紙、火酒、鱒魚等ニシテ總額一億五千

万弗ニ下ラス輸入品ハ木材、燕麥、酒、麻、苧、毛布、金、銀、銅、鐵、

塩、炭等ナリ 此國森林礦産ニ乏シキカ故ニ 木材石炭等皆他邦ヨリ輸入ス ○牧畜ハ此

國産物ノ主トスル所ニシテ其國中需用ノ外毎歳牛七
 万三千頭小牛三万六千頭羊十七万餘頭豕六万餘頭合
 テ其價四百三十餘万弗ヲ輸出ス又乾酪及ヒ牛酪ヲ
 出スノ量夥多ニシテ八百五十三万五千弗ニ至ル咖啡
 ハ多ク其属地東印度ニ産スル所ニシテ之ヲ他邦ニ販
 賣スル處ハ安特堤ヲ以テ最トス又鱈魚ノ漁獵甚々大
 ナリ○諸製作場ハ荷威立塞及ヒ南荷蘭ノ地方ニシテ
 安特堤鹿特堤共ニ蒸氣器械ノ製作場及ヒ大ナル砂糖
 ノ製造場アリ殊ニ安特堤ニ在ル所ノ金剛石ノ磨琢場
 ハ歐洲中ノ第一トス故ニ歐洲各國ニ於テ最大ノ金剛
 石ヲ得ルハ此所ニ輸送シ之ヲ琢
 磨ス又鹿特堤ノ近傍シキ
 ダム火酒ヲ製出スルヲ夥シ其他

毛布麥酒花繩等ノ製作場到ル所大ナルモフアリ造船
 場ハ國內概子數百處ニ下ラス最モ南荷蘭ノ中ニ盛ナ
 リ
 國民ノ風俗質朴温厚ニシテ能ク運思力作ニ堪ヘ堅忍
 ニシテ麤暴ナラス人々協和シテ文化最モ洽シ學校ノ
 設ケ大中小ヲ分チ都府ヨリ村落ニ至ルマテ備ハラガ
 ルナク全國ヲ平均スルニ人口八分一ハ常ニ學校ニ從
 事シ其學費至テ僅少ナリ○大學校ハ来丁ニアリテ博
 物館書庫司天臺濟病院植物園等之ニ属ス烏特立哥羅
 羅ニシテ亦大學校甚盛ナリ海軍學校ハ維廉窩爾ニシテ在リ陸
 軍學校ハブレダニ在リ製造専門ノ學校ハテルフトニ

在リ又醫學校、商船航海學校等ヨリ理科專務ノ會社等
 數多アリ其他贅者、啞者、廢疾ノ者ヲ教育スルノ學校ハ
 安特堤、哥羅凝、鹿特堤等ニ在リ皆盛大ニノ教化遺ス
 所ナシ各府又大ナル濟病院、養老院、救貧院等アリ○又
 海軍造船場ハ安特堤、維廉窩爾ノ中ニ在、テ海軍場ハ非
 里薩「ニューウヰジイ」ノ地ニ建設セリ當今軍艦ノ數七十
 五隻小船四十六隻アリ海外領地ノ保護ヲ主トシ兼テ
 沿海ノ防禦ニ備フ此國古ヨリ航海ノ術ニ精ク往昔合
 衆政治ノ時ニ方テハ其海軍ノ盛ナル歐洲ニ冠絶シ屢
 英國ヲ破、テ之ヲ戰粟セシムルニ至リ 達迷斯河ニ遊、テ
 タル英國大軍艦ノ發具今 艦戰シ其奪畧シ
 尚海牙府ノ海軍局ニ藏ス

安特堤ハ人口廿七万二千南荷蘭ニ在リテ南海ヨリ屈
 曲穿入シタル「エ」ノ細灣ニ臨ミ安特堤河等ノ小流府
 内ヲ從横シ二百餘ノ橋梁ヲ架シテ相連通セリ此府六
 七百年前ニ於テハ寥寥タル村落ナリシカ次第ニ繁盛
 ニ赴キ三百年前ヨリ始、テ國內第一ノ都府トナリ貿易
 要樞ノ地トナレリ商船ノ出入最モ夥ク貨物ノ運輸甚、
 盛ニシテ「エ」ノ水面常ニ帆檣林立セリ中央坦ト名ク
 ル廣キ平面ノ地ニ往時ノ會議院アリ方今之ヲ王宮ト
 號ス 國王ノ常ニ住スル處ニ非ス唯此 壯宏雄麗ニシテ
 府ニ未ル時駐駕スルノ處ナリ 長廿四間幅三十四間高廿七間アリ内外奇巧ヲ極
 メ或ハ銅像ヲ以テ之ヲ飾リ或ハ十七間餘全ク白キ大

理石ヲ以テ作りタル内殿アリ又平面ノ地板數種ノ大
 理石ヲ錯綜シ巨大ノ地球圖及ヒ天球圖ヲ鑿填シタル
 ノ室アリ此建立ノ地固ヨリ卑下ナルガ故ニ一万三千
 六百六十箇ノ長キ柱杭ヲ樹テ填メ其基礎ヲ定メシモ
 ノナリ寺觀ノ數六十箇舊寺新寺共ニ此國古今名ヲ著
 セル將帥ノ墳墓アリ白臘石ヲ以テ彫刻シタル其卧像
 ヲ設ク皆觀ルニ堪タリ藏書院動物園甚タ美麗ニシテ
 其集蓄スル所極メテ盛大ナリ此地渚水停滞シテ流レ
 ス其蒸發ノ氣人ノ壯健ヲ害スルニ至ル然レトモ許多
 ノ人工ヲ盡シ溝渠ヲ鑿通シテ稍其害ヲ散消セリ又府
 下井ヲ穿ツト能ハザルガ故ニ飲料ノ水ニ乏シクハト

ルレムノ近傍ヨリ掘ヲ通シテ水ヲ引ケリ○鹿特堤ハ
 新謬塞河ニ濱ス國內第二ノ都府ナリ又貿易繁盛ニシ
 テ商船ノ此府ニ属スルモノ甚タ夥シク殊ニ三十年來
 ハ次第ニ盛大ニ至リ安特堤ト犄角ノ勢ヲナスニ至レ
 リ新築ノ屋宇鮮麗ニシテ方今人口十萬ニ下ラス大ナ
 ル商船ノ投錨場アリ溝渠ハ皆鐵橋ヲ以テ之ニ架セリ
 西面ニ蔭翳幽邃ノ綠林アリ府民散步ノ地ニ供ス國內
道此府一五テ盡キ其ヨリ南部ハ河氣船ヲ以テ往來セ
シカ近年トレトクトヲ通シテ直チニ比利時ニ達ス
ル鐵道ヲ成功シ比、仏 ○海牙ハ前兩府ノ中間ニ在リ北
兩國ノ往來ニ便ス
五十二度三分西經百三
十五度三分西經百三
ノ在留スル慶ナリ人口八萬二十餘ニ過キスト雖モ人
此國京城ノ地ニシテ各國公使

家美麗ニシテ慶々ニ寛濶ノ地ヲ存シ銅像ヲ安置ス國
 内第一ノ勝地ナリ殊ニ藏畫院ノ如キ油畫ノ著名ナル
 モノヲ藏シ其ポツトルノ牧牛圖又コンブランドノ解剖
 圖ノ如キ歐洲中ニ於テ一二ヲ競フ所ナリ拿破崙一世
嘗テ歐洲各
 國ノ宝藏ヨリ有名ナル物品ヲ集聚セル氏此名画モ亦
 巴黎ニ移リテ此牧牛圖ノ如キ其品評全洲第二ノ名画
 ト定マレリト云フ後拿破崙ノ位王居ハ坊間ニ在リ小
 ヲ退クニ及ンテ再ヒ舊ニ復セリニシテ甚ク美麗ナラス此府ニ傍フテ鬱葱セル深林ア
 リ都人遊歩ノ地ニシテ殊ニ夏日ハ軍樂ヲ張リ士女羣
 集シテ相歡遊ス

和蘭領地ノ海外ニアルモノ亞細亞洲印度諸島ヲ以テ
 第一トス之ヲ和蘭領東印度ト名ケ第三卷ニ
詳ナリ物産富饒

ニシテ毎歲其得ル所ノ利益百數万ニ至ル又亞米利加
 洲ニ於テハ「シユリナーム」ノ地及ヒ西印度諸島ノ中許多
 ノ領地アリ然レモ東印度ノ如ク大ナル利益ヲ得ルニ
 至ラス其他壞太利ノ中新危ニシテ危ニシテ尼ノ海岸等ニ於テ僅少ノ地ヲ有セリ

○比利時ミルシユム

北ノ方北和蘭ニ接シ東ハ普魯士プロシヤニ隣シ南ハ佛蘭西フランスニ界
 シ西ハ北海ニ濱ス幅員纔ニ千八百九十一方里ニ過キ
 スト雖モ人口四百八十四万餘アリ故ニ人烟ノ稠密ナ
 ルヲ歐洲ノ第一ニシテ方一里内ニ二千五百五十九人
 ヲ以テ算ス教宗ハ盡ク舊教ヲ奉シ言語ハ大略佛語ヲ

用フト雖モ北部ハ蘭語ノ稍轉訛セルモノヲ用フ其教
派言語ノ佛國ニ同ジキヲ以テ國內ノ風俗概略之ニ等
シ

此國往時ハ發蘭德ト名ケ和蘭ト共ニ一國ヲ為シ低邦
ノ總稱有リ後分裂シテ他邦ノ領地トナルヲ數次近來
ニ至リ始メテ獨立シ随テ比利時ノ國號ヲ稱ス蓋シ在
昔久シク不干の侯佛國ノ東北部ニ屬シ後和蘭ト共ニ轉シテ
西班牙王ノ併セ領スル所トナリシカ和蘭ノ兵ヲ舉テ
獨立スルニ當リ南北分裂シテ千五百七十六尚西班牙ニ屬スル
七百三十餘年當時西班牙低邦ト號セリ其後墺國ニ屬
シ又墺低邦ト稱シ次テ千七百九十四佛國ノ為メニ陷ラレ更ニ

佛低邦ト名ク拿破崙ノ衰ルニ及ヒ更ニ又墺ノ領地ニ
屬セシカ維也納都ノ會盟ニ因リ全ク和蘭ニ歸シテ再
ビ一國トナリ墺ハ之ニ代フルニ威尼西利ノ地ヲ得
タリ其後教法ノ同一ナラザルヨリ和蘭ト協ハス四十
一年前千八百三〇兵ヲ舉ケテ和蘭ニ背キ數度ノ戰爭アリシ
ガ佛國ノ援ニ依テ終ニ獨立國トナリ始メテ君民共治
ノ王國トナレリ○此國強國ノ間ニ介リ奕世屢其屬ス
ル所ヲ變シ且地勢平坦ニシテ從來兵馬ヲ用ルニ便ナル
ガ故ニ國內古戦ノ遺跡甚夥シク其數指ヲ屈スルニ暇
アラズ殊ニ他邦ニ勝レリ國內ヲ九州ニ分ツ即チ南巴
班安都厄比東發蘭德西發蘭德海腦德列日那慕及ヒ林

堡盧森堡^{ブルク}ノ一部是ナリ地勢一般ニ平坦ナリト雖モ低窪ナラズ土地豊饒ニシテ田野開ケ氣候和煦ナリ南ヨリ東南ノ方ハ丘陵岡巒多ク西部及ヒ東部ハ士加爾達^{シカール}謀塞^{ミユリス}ノ二大河アリテ尚數多ノ小流國內ニ縱横シ水利ノ便通セザルナシ又大氣清朗乾燥ニシテ最モ人ノ健剛ニ適ス○處々石炭墻アリ多クハ平地ヨリ鑿出ス其地ハ海腦德^{ヘイノド}列日^{リイジ}那慕^{ナム}等ヲ以テ最モ盛ナリトス其礦窟三百三十餘箇毎歲三千餘万弗ノ量ヲ出ス錢墻亦處々ニ之アリ

國民ノ生業ハ製造農業ヲ基本トシ航海ノ業ハ專ラ之ヲ理メス故ニ商船ノ數甚タ少ク小船ヲ合セテ國中僅



比律悉府之圖



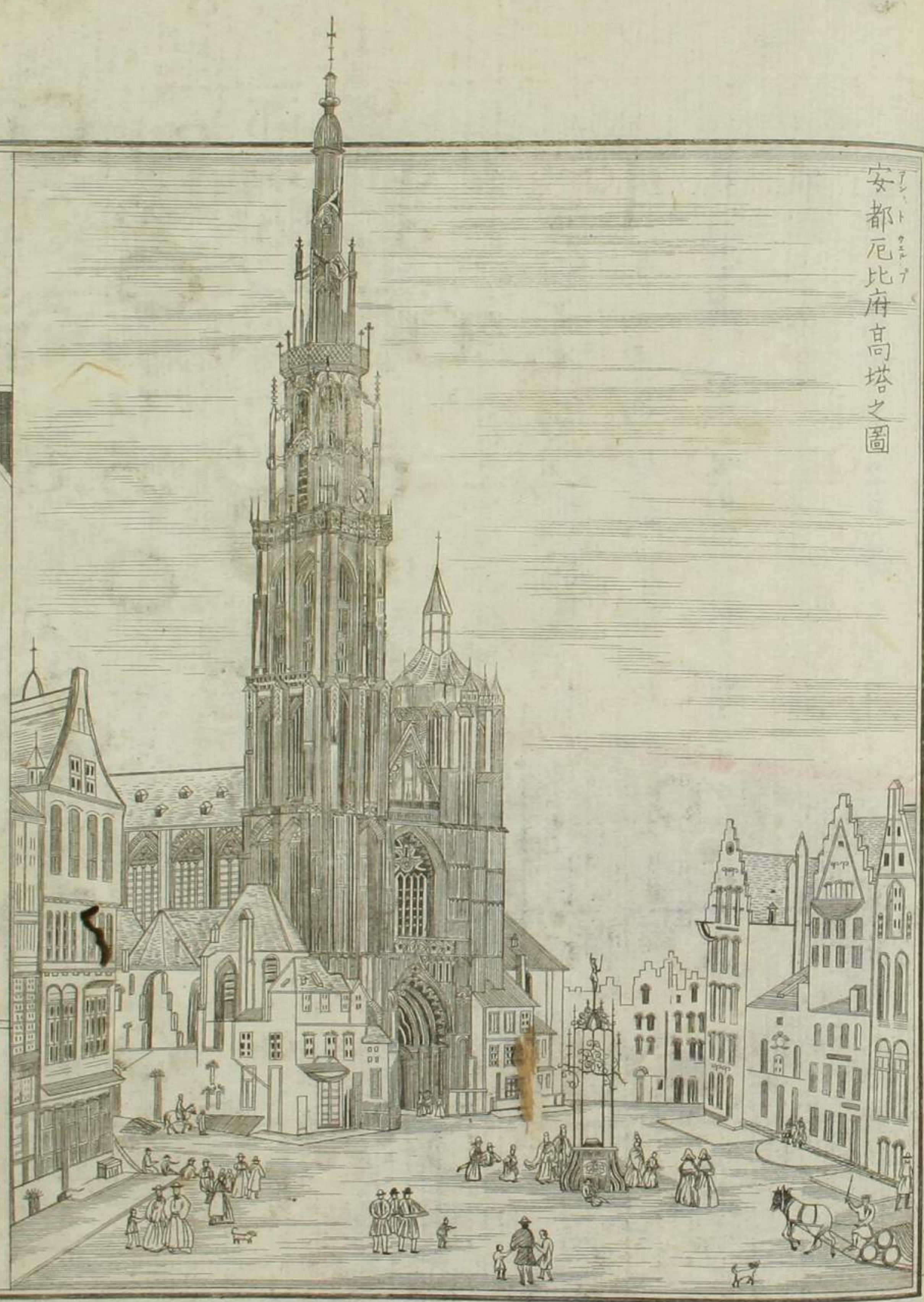
列日府之圖

カニ一百十二艘ニ過ギズ是ヲ以テ貿易ハ唯陸路ヲ主
 トシ水路ハ多ク他邦商船ノ輻輳スルヲ仰クノミ輸出
 ハ佛國ヲ最トシ英國之ニ次ク輸出品ハ絹帛線緞麻
 苧麻布牛酪等ヲ以テ主眼トシ其他製造諸品甚々多シ
 ○國內製作場甚々盛ナリ巴班地方ヨリ出ス線緞織絲
テ編ミタルモノニテ紗ノ如ク其色黑白ノ二種アリ
婦人ノ外装等ニ用フ此製出此律悉ヲ以テ最トス
 如キ歐洲各地ニ傳播シテ其精巧ヲ稱セリ其上等ノ製
 ニ至テハ寸ヲ以テ價ヲ算スル所ニ各國富豪貴顯ノ
 女子缺ク可カラサル者トス「ウエルサイール」及ヒ列日
 府毛布ノ製造甚々盛ナリ其質ノ佳良ナルヲ嚴名遠ク
 播セリ發蘭德ノ州内ニハ夥ク麻苧ヲ産ス最モ佳品ニ

シテ麻布ノ製造亦甚々著名ナリ列日那慕府處々錢器
 類ノ製作場アリ就中小銃等ヲ製出スルヲ極ノテ夥多
 ナリ其陶器ノ以律悉近的ニ於ル金銀器ノ近的安都厄
 比府ニ於ル亦古ヨリ世ニ傳稱スル所ナリ
 此國四通五達ノ要地ニシテ殊ニ製造ノ業盛ナルガ故
 ニ域内錢道ノ密ナルヲ歐洲中ノ第一ニ居レリ現今
 其落成スル處ノモノヲ總計スルニ長サ七百九十三里
 ニシテ之ヲ全國ノ表面ニ平均スルキハ方一里内ニ錢
 道殆半里ヲ以テ算ス其規模巨大ナル大約長サ一里ニ
 シテ十九万八千五百弗ヲ費セリ中留所等都テ附屬皆
 多クハ政府ノ所務ニ屬シ其利益亦夥シク毎歲得ル所

子及ビ石碑ヲ安置シ以テ之ヲ標識ス○「ルタン」ハ比律
 悉ノ東北五里半ニ在リ人口二萬九千アリ有名ナル大
 學校アリ往時ハ千五百年代最モ繁盛ニシテ人口二十萬ニ
 過ギ大學校ノ如キ生徒六千人ニ充テリト云フ當時製
 作場ノ最モ盛ナル地ニシテ工人常ニ十三萬アリ○安
 都トニル厄比トニル人口十二萬三千アリ士シ加爾達河ニ濱ス國內貿
 易ノ要地ニシテ毎ニ各國ノ商船羣集ス往昔嘗テ有名
 ナル貿易場ニメ四五十年前ハ殊ニ繁盛ヲ極ハメ當時
 商船一日ニ五百艘ノ出入有リテ常ニ二千五百ノ船舶
 投錨セリト云フ有名ナル大寺カセダランノ高塔直立七十四間餘
 アリ最モ奇觀ニシテ歐洲第三ノ高塔ナリルスタラスグノ高塔

安都厄比府高塔之圖



ヲ以テ第一トシ填都ニ在ルモノヲ第二トス

又諸術學校、畫學校、甚々盛ナリ此府ノ周圍ニ堅固ナル城堡數箇アリ皆近年ノ築造ニ係ル其上部鏡版ヲ以テ裝置シタル圓塔形ノ炮臺アリ○近ゲ的此處亦貿易繁盛ノ都府ニシテ人口十餘萬アリ製作場最モ盛大ナリ又植物培養ノ業ニ於テ近邦ニ比無キノ地ナリ常ニ奇花異草ヲ嚮クヲ業トスルモノ多シ植物ノ新聞紙數種世ニ行ハル○列リ日亦繁盛ナル都府ニシテ近郊石炭ヲ出ス丁夥シク巨大ノ製作場アリ蒸氣罏械小銃及ヒ百般ノ鑄造鏡器等ヲ製出ス工人ノ數常ニ五千ニ下ラズ○不魯ブ魯ル日、西岸ニ近キ都會ニシテ近來ハ甚縮小スト雖モ古代ニ在テハ安都アン厄ト比ウト共ニ

此國ノ二大府ト稱シ其貿易ノ盛ナル近隣ニ并ビ無キ所ナリシガ西班牙王新教ヲ嚴禁スルニ當リ府ノ住民多ク英國ニ遁レ爾來大ニ衰フ○オスオテストテ西岸ニ在ル海港ニシテ人口一万三千夏月ハ海水浴浴室ノ如シハ於テ於海水ヲ浴ス夏月ハ温泉ニ代テ甚快暢ナリノ為メニ都人士群集シ殊ニ繁盛ナル勝地ナリ○此國海外ノ領地唯亞米理加ア關メ都ラ拉斯ノ地ニ於テセントマススノ海港アリ至小ニシテ舉ク可キモノナシ近來殖民ヲ為スト雖モ更ニ盛ナルニ至ラス

和蘭比利時兩國畧史

和蘭比利時曩時ハ一國タリ其住民ハ本比利時人巴達バ臥ダ人非里フ西人等ト名ク

ル野蠻ニシテ川流ニ沿テ轉居シ次第ニ部落ヲナ
 スニ至レリ乃チ比利時人ハ今ノ北巴班及發蘭德
 ノ地方ニ住シ巴達臥人ハ來因謀塞ノ下流ニ遷リ
 非里西人ハ北部ニ住ス方今人民ノ自ラ氣象ヲ異
 ニスル及ビ其名ノ地名ニ
 存スル者幸之レヲ
 徵スルニ足ルベシ羅馬ノ元帥該撒ノ時嘗テ兵ヲ
 遣ハシテ全國ヲ征服ス然レ氏後來土人屢兵ヲ起
 シテ獨立ヲ圖リ反覆常ナラス竟ニ盡ク綏定スル
 能ハザリシカ羅馬ノ衰ルニ及ビ歐洲居民互ニ遷
 徙スルニ當リ日耳曼地方ヨリ許多ノ民種陸續ト
 シテ侵入シ相驅逐シテ又他邦ニ遷徙スル者多ク
 其中佛蘭哥ト名クル民種終ニ國人ヲ壓伏シ之ヲ

管轄スルニ至レリ然レ氏久カラズメ終ニ南徙シ
 佛國ニ入ル佛國ノ條
 下ニ出蓋當時此混亂ニ依リテ居民
 次第ニ雜種ヲ為シ又自ラ封建ノ状ヲ為セリ其後
 佛帝查理曼ノ時全國盡ク其征服スル所トナリ更
 ニ法度ヲ建起シ各部ニ地方官ヲ置テ政令ヲ管ラ
 シメシ者因襲シテ盡ク封建ノ制ト成リ許多ノ侯
 伯ニ因テ邦域ヲ分領シ命ヲ佛帝ニ受ケシガ查理
 曼歿スルノ後日耳曼佛蘭西兩國ノ間罅隙ヲ生シ
 數兵ヲ構フニ至リ其南部發蘭德比利時ノ外ハ皆
 終ニ佛ニ反シテ日國ニ屬ス九五十字軍ノ起ルニ
 及ンテ國內貴族ノ兵ヲ出シテ遠征セシモノ多ク

此年代ヨリ各地ノ都府次第ニ繁盛ニ趣キ平民自
 ラ府兵ヲ設備スルニ至リ府民ノ權漸ク侯伯ト相
 競ロ竟ニ屢干戈ヲ動セリ殊ニ當時國內一政府ノ
 統轄スル所ニ非ス故ニ大小許多ノ侯伯貴族皆各
 地ニ割據シテ互ニ相吞噬シ各盛衰興廢アリ又嫁
 娶ノ故ヲ以テ領地互ニ分合ス乃チ荷蘭州ノ如キ
 モ亦婚姻ノ故ヲ以テ日耳曼帝ニ歸シ南部發蘭德
 ノ如キ既ニ久シク佛國不干の侯ニ歸セシガ北部
 ノ諸州過半之ト合併シ同侯ノ領地ニ屬ス然ルニ
 後血統ニ因ッテ南北全土概チ墮帝ニ歸シ十七四更
 又西班牙ニ屬シ侯伯皆西班牙ノ藩屏トナレリ

班西

牙ノ條下ヲ併 又當時學藝製造ノ業既ニ精シク
 印行ノ術コスラル氏ハリル 不魯日安都厄比ノ如
 レム府ニ於テ創メテ發明ス
 キ次第ニ貿易繁盛ニ赴キ已ニ有名ナル市場トナ
 レリ然ルニ教法改革ノ亂起リ國民ノ新教ニ歸ス
 ル者多キニ因リ西班牙政府ヨリ苛酷ノ令ヲ下シ
 テ之ヲ嚴禁シ尋テ將帥ヲ遣シ兵カヲ以テ新教ノ
 徒ヲ殺戮スルヲ無算其殘忍言フヘカラズ因テ國
 内大ニ騷擾シ和蘭北部ノ七州同盟合衆シテ西班
 牙ト戦ヒ十五遂ニ獨立國トナリ一時歐洲中ノ強
 國ト號セリ 今ノ和蘭國ノ部是ナリ 當時和蘭合
 定ノ大統領 是ニ於テ南北二部ニ分レ當時南部ハ
 アルニ非ス

尚西班牙ニ属セリ○和蘭ノ西班牙ニ抗シテ獨立
 スルノ前西班牙王非立二世其支族ヲ以テ和蘭ノ
 全國ヲ總管セシムト雖モ諸州郡皆固有ノ公伯或
 ハ貴族ヲ推選シテ頭領ト為シ部内ノ政務ヲ管セ
 シム阿蘭治公維廉アランヂ公維廉ノ地名ナリハ昔ノ義一ノ原佛國
 此系統ノ如キ人望最之ニ歸シ荷蘭西蘭烏特立等
 ノ數州ヲ合セ之ヲ管轄セシカ國內騷擾スルニ當
 リ西班牙ノ兵ヲ被リ衆寡敵セサルヲ以テ一旦日
 耳曼ニ遁ルト雖モ復ビ兵ヲ治メ屢苦戰シテ邦土
 ヲ回復セントヲ圖レリ然レモ其勢南北ヲ合同ス
 ル能サルヲ察シ先ツ檄ヲ北部ノ七州ニ傳ヘ大ニ

烏特立ニ會盟シテウトルト獨立ヲ稱シ舉國益憤激メ
 西班牙ノ兵ト戰フ維廉公自ラ盟主トナリテ心志
 ヲ國事ニ竭セシガ一朝刺客ノ為メニ害セラレ同
 盟ノ權力殆ド錯亂ヲ生セントス然レモ幸ニシテ
 英國ノ援兵ヲ得加ルニ英西二國ノ間釁隙ヲ生ス
 ルニ因リ英國以刺殺伯女彼白帆ヲ以テ海盆ニ充
 滿セシメタル西班牙ノ大軍艦隊ノ如キ英國ト力
 ヲ合セ盡ク之ヲ盡没スルヲ得タリ維廉公ノ子モ
 一リス嗣デ盟主トナリ勇猛果斷善ク兵ヲ用ヒ屢
 寡ヲ以テ衆ニ敵シ次第ニ邦土ヲ回復シテ漸ク干
 戈ヲ收ムルニ至リ蓋シ騷亂ノ初メヨリ此ニ至ル

迄四十二年其間更ニ寧歲ナク老少婦女子ト雖モ
 皆戦闘ニ從事シ全國死カヲ盡シテ強敵ニ抗シ終
 ニ此ニ至ルヲ得タリ其後佛王顯理^{ヘアリ}四世和蘭ヲ扶
 ケテ軍費兵カヲ給ス是ニ因テ大イニ海軍ヲ廣張
 シ航海ノ術益進ミ初メテ東印度ニ航シ^{十五}葡國
 ノ守衛兵ヲ逐フテ諸島ヲ蠶食シ終ニ大ナル海外
 ノ版圖ヲ開クニ至レリ^次我ガ日本ニ貿易ヲ通
 北氷洋ヲ跋渉^シノ^被テ^擧大^利ヲ見出シ又
 海路ヲ搜索セリ[○]西班牙ト休戦十二年ニメ日耳
 曼地方再ビ教派分裂ノ争亂起リ更ニ復タ西班牙
 ト戦端ヲ開キ^{千六}次^ニテ三十年間兩國ノ戦争トナ
 レリ其間和蘭ノ兵海軍ヲ以テ大勝ヲ得ル^ト少ナ

カラス^{亞米利加洲ノ領地ヨリ十萬ノ財宝ヲ充載}
 奪ヒ取リシ^ト夏^ニ巴^西ヲ蠶食シ又北米利堅ノ各
 地及ビ西印度ニ殖民ヲ為シ海外ノ領地ヲ増加ス
 ル^ト甚多ク此時ニ方リ國內ノ貿易益繁盛ヲ極メ
 各府日ヲ追テ富強ヲ稱シ學者文人跡ヲ踵テ輩出
 シ學術ノ俊秀ナル當時他邦ニ冠絶セリ其日耳曼
 三十年ノ戦争始メテ終ルニ及ンテ和蘭モ亦戦ヲ
 止メ漸ク西班牙ト和議ヲ講セリ^前機^西班牙ノ^戦
 間^ノ後^ト其後國內諸鎮ノ中荷蘭州ノ頭領^{シヤン}デウ
 ツト賢明ニシテ善ク財ヲ通シ貿易次第ニ繁盛ニ
 至リ遂ニ英國ト相競フノ勢ヲ生シ積テ戦争トナ

リ^{千六}五^二兩國海軍ヲ以テ三年間大ニ雌雄ヲ決ス此
 時和蘭ノ海軍強盛ヲ極メ水師提督「トロンブ」デロ
 イトル「ワッセナール」等ノ英傑並ビ出デ屢英國ノ船
 隊ヲ挫折シ威名ヲ遠邇ニ振ヒ歐州ノ沿海ニ横行
 スルノ勢アリ殊ニ「デロイトル」ヲ總督トシテ英國
 海軍ノ巢窟ヲ搗ント欲シ直ニ達迷塞河ニ遡リ「チ
 ヤタム」ニ於英ノ海軍ヲ鏖撃燒盡シ國威ヲ輝カシ
 テ終ニ和議ヲ講スルニ至リシハ實ニ列國ニ比類
 ナキ盛舉ト稱スベシ^{千六}六^七其後^{千六}七^二歐州各國皆和
 蘭ノ強盛ナルヲ忌憚シ英佛及ビ日耳曼ノ列侯合
 從シテ和蘭聯邦ヲ亡サント欲シ海陸三面ヨリ大

ニ襲撃ス時ニ和蘭ノ聯邦皆維廉公三世ヲ推テ盟
 主ト為シ盡ク兵馬ノ權ヲ委ヌ維廉公能ク兵ヲ用
 ヒ數倍ノ大敵ト戦ツテ勝敗相半バシ且「デロヒト
 ル」水師ヲ指揮シテ海岸ヲ守リ更ニ英兵ヲ近ケズ
 終ニ尺寸ノ地ヲ失ハズノ和議ヲ講スルニ至ル然
 ルニ其後英國ニ於テ内亂大ニ起リ國王ヲ廢スル
 ニ至リ維廉公三世ヲ迎ヘ兼テ英國ノ王位ニ即カ
 シム此ニ因テ^{千六}八^八○英國ノ條^條兩國ノ交際新
 ニ親睦ヲ為シ共ニ結デ佛國ト兵ヲ構フ佛王路易^{ルイ}
 十四世軍ヲ比利時ニ出シ和蘭ヲ襲フニ當リ維廉
 三世之ト會戦シ互ニ勝敗アリ蓋シ當時佛王ノ跋

扈ヲ抑ヘ之ヲシテ其意ヲ伸フルヲ能ハサラシム
 ルモノハ維廉公ノ力ニ因ルト謂フベシ後久シカ
 ラズノ西班牙國王位相續ノ争亂起リ 西班牙ノ條
下ヲ合セ見
 シルベ又佛國ト兵ヲ交ヘ和ヲ議スルニ及ンデ 十七、
十三
 比利時ノ地ヲ以テ墺國ニ附シ共ニカヲ合セテ佛
 兵ノ侵入ヲ防グノ備ヘヲ為シ爾來三十一年間國
 内平穩ナリシガ墺國ノ内訌ニ依テ復ヒ佛國ト争
 論ヲ發キ加ルニ國內黨與ヲ分チ相争ヒ甚靜平ナ
 ラズ佛國大騷亂ノ時ニ至リ南部屢兵禍ヲ被リ佛
 國ノ大兵比利時ヲ蠶食シテ和蘭ニ侵入スルニ當
 リ民心一和セズシテ之ニ抗抵スル能ハズ鎮臺貴

族等ノ英國ニ遁ル者多ク終ニ地ヲ割テ和議ヲ
 乞ヒ僅カニ巴達卧合衆國ト稱シ半バ佛國ニ伏從
 ス是ニ因テ英國ノ和親破レ其海外ノ領地盡ク英
 國ニ奪ハレ貿易衰ヘ人心和セズ次第ニ佛ノ威力
 ニ劫壓セラレ之ヲ如何トモスル能ハサリシガ拿
 破崙一世終ニ令ヲ下シテ合衆政府ヲ廢絶シ其弟
 路易拿破崙ヲ封ジテ王トシ初メテ和蘭王國ト稱
 ス尋テ路易拿破崙位ヲ退キ邦土全ク佛ノ版圖ニ
 歸シ兵卒ヲ徵シ軍資ヲ課スルヲ甚重ク國內大ニ
 疲弊ス拿破崙帝魯國ニ破、ニ及ヒ全國忽兵ヲ舉
 テ佛官吏ヲ逐頭領ノ子遁テ英國ニ在シ者ヲ迎

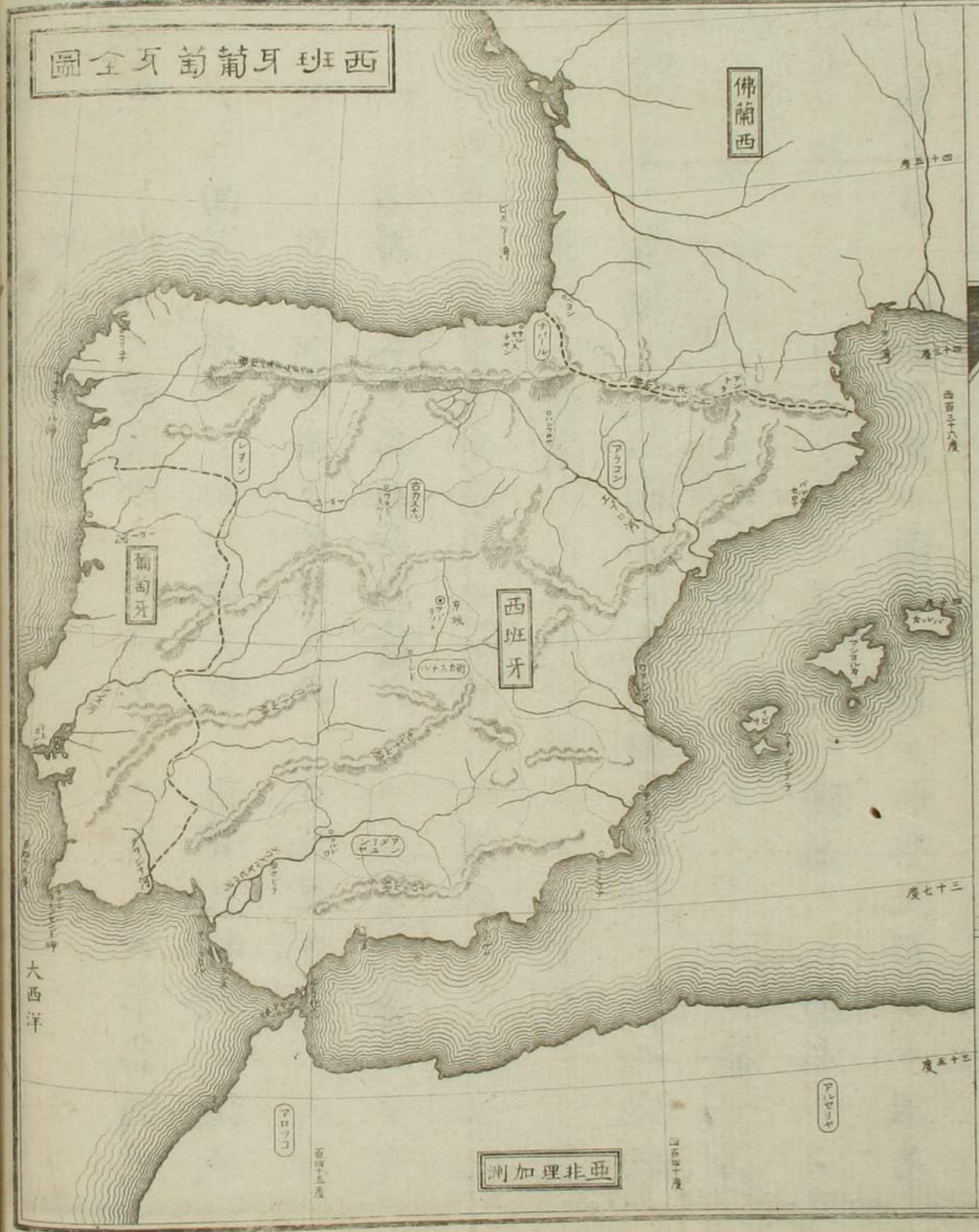
立テ王ト為^{ネイルム}維廉一世ト號シ千八百一四再^ニ獨立國トナレ
 リ次テ塙都ノ大會議ニ於テ比利时ヲ合併シ再ビ
 一國トナリ海外ノ領地ヲ英ヨリ復スルヲ得タリ
 喜望峰ハ尚^ホ拿破崙ノ「エルバ」島ヲ出デ再ビ大兵ヲ
 英ニ属ス 將井テ北侵スルニ方リ太子後位ニ即キ維廉二世ト稱スヲ以テ
 大將ト為シ英普トカヲ合セ華德路ノ大戦ニ於テ
 死カヲ盡シ終ニ大ニ佛兵ヲ破レリ千八百一五爾後國內
 靜寧ニノ貿易繁盛シ國勢漸ク復スルヲ得タリシ
 ガ土風教派ノ同一ナラサルヨリ輿情恊ハス南北
 互ニ相競ヒ遂ニ分裂シ南部比利时遂ニ兵ヲ舉テ
 和蘭ニ抗ス和蘭王之ヲ鎮壓セント欲スレ^ル佛國

兵ヲ出シテ之ヲ扶ケ英國モ亦其獨立ニ同意スル
 ガ故ニ終ニ英京ニ於テ和議ヲ講ジ日耳曼侯國薩サク
 克各堡ノ公子留波爾多ヲ迎ヘテ比利时ニ王ヲラ
 シメ已來始メテ獨立ノ王國トナレリ千八百三十九此ニ於
 テ和蘭ハ大ニ版圖ヲ縮小スト雖モ尚^ホ海外ニ許多
 ノ領地ヲ有シ學藝教化隆盛ニシテ政令風俗其宜
 シキヲ得人心一和シテ閩國平穩ナルヲ實ニ人民
 ノ幸福ヲ得タル邦國ト稱スヘシ

○西班牙 ○葡萄牙

西班牙^{スベ}歐洲ノ西南隅ニ突出シタル大ナル半島國ニ
 シテ三面海ヲ環ラシ西葡國ヲ包ミ南日巴拉大^{ブラ}ノ海峽
 ヲ隔テ、亞非利加洲ト相望ミ北ノ方比里牛斯^{ビリ}ノ山脈
 ヲ以テ佛國ニ界ス其表面三萬六百八十方里餘ニノ之
 ヲ十九州ニ區分シ南北長サ二百二十餘里ニメ幅百五
 六十里ニ出入ス全國ノ人口千六百三十萬餘有リ○地
 勢北部ハ峻峻ニノ山地多ク殊ニ國界ニ接シ高峰蜿蜒
 シテ常ニ氷雪ヲ頂ケリ中央ハ高原多ク平地ト雖モ海
 面ヲ抜クヲ二百二十丈ニ至リ概子曠漠タル瘠土ニノ
 其間許多ノ山脈ヲ見ル南部ハ都テ平原沃野多ク次第

西班牙葡萄牙全圖



二歌側シテ海面ニ均シキ低地ヲ為セリ氣候都テ春秋
 ノ候短クノ炎暑ノ日永ク但中央ヨリ以北ニ至レハ冬
 月亦頗ル寒冷ナリ南部海岸ノ地ハ溫暖ニ草木鬱生
 シ菓實ノ産頗ル夥シク現ニ輸出品ノ一端ニ供シ遠近
 其佳羨ヲ傳稱ス産物ノ主眼トスル所ハ京上ノ羊毛葡
 萄酒蠶絲藥材礦物等ナリ○國內總テ高山多ク其山脉
 概テ東西ニ連亘ス罕他伯安如斯の安西拉多勒西拉摩
 里拿西拉尼窩多等ノ山脉ヲ以テ最トス川流ハ殊太古
 斗羅尼波羅瓜達幾微瓜低安等ヲ大ナリトス其他數多
 アリ○國界比里牛斯ノ山脉ハ地中海ヨリ直チニ比斯
 加灣ニ亘リ全ク地峽ヲ横斷シテ佛國ト天然ノ境界ヲ

ナセリ其山脈北面ハ斜側シテ南面ハ直立シ山路最モ
 峻峻ナリ佛西兩國ノ通路數條アリト雖モ著ルキ高嶺
 ヲ且リ左右皆屹立シタル千尺ノ巉岸屏風ヲ列子シ如
 ク路幅狹クノ數尺ニ過ギサル處アリ之ヲ山門ト名ク
 ワテスキト名ル通路ノ如キ其絶嶮ノ山門親子ヲ頽ミ
 ズ子親ヲ頽ミズト云フ名義ノ處アリ本邦嶮岨ノ地親
 稱アリ蓋シ之ト同意但山脈東西兩端ノ處纔ニ馬車ヲ通ズベキ
 ノ路各一條アリ

人種ハ概シ維士峇特ト名クル種族ノ後裔ナリ然レモ
 上古ヨリ各種ノ人民相遷徙シテ雜種ヲ為セル者多ク
 自ラ歐州中土ノ人民ト容貌氣象ヲ異ニスルガ如シ蓋

其初メ塞爾達ノ野民此國ニ住シ次テ加爾達額ノ盛ナ
 ル頃之ニ殖民ヲ為シ亞非理加洲突尼斯ノ海岸ニ在リ
 上古航海貿易ノ盛ナリシ邦國也次テ羅馬ノ板圖ニ歸シ其衰ルニ及テ維士峇特ノ人民
 遷徙シテ遂ニ全國ニ蔓延セリ然ルニ回教ノ兵亞拉伯
 ニ起リ漸ク東西ニ板圖ヲ開クニ當リ亞非利加洲ノ北
 部ヨリ地中海ノ近傍ヲ蠶食シ千百七十年前ノ頃ヨリ
 此國ニ侵入シ全土大略其併吞スル所トナリ土人概シ
 山地ニ遁レ避ク仍テ回教ノ法王久シク都ヲ定メ各地
 ニ都府ヲ建起シ幾ント七百年間邦土ヲ領セリ故ニ其
 建築セシ所ノ宮殿寺觀方今尚處々ニ存シ壯宏奇巧驚
 愕ス可キ者夥ク最モ當時ノ富盛ヲ想像スルニ足ル殊

ニ其移シ来ル所諸般ノ器械及ヒ學藝等ノ如キ初テ此
 國ニ開ケ益ヲ為ス者亦少ナカラズ其後土人稍ク邦土
 ヲ回復シ全ク之ヲ驅除スト雖モ其雜居ノ久シキ自ラ
 人種相混セル者有リテ言語亦亞拉伯語ヨリ轉訛セル
 モ、甚多シ

此國在昔葡國ト共ニ航海ノ業ヲ創シ其盛大ナリシ
 歐洲ニ冠絶シ最モ他邦ニ先ツテ世界ノ通路ヲ開キシ
 モノト謂フベシ彼ノ閣龍ノ亞米理加ヲ發見シ「マジラ
 ノ」初テ世界ヲ一周セル共ニ此國ニ在リ又喜望峰ヲ
 廻リ初テ東印度ノ海路ヲ開ケルモノハ葡國ノ力ニ關
 ス次テ兩國ノ船隊專ラ遠洋ヲ跋渉シテ至大ノ版圖ヲ

開クニ方リ其領地ノ夥シキ航海通商ノ盛ナル當時他
 邦ノ之ニ頡頏スルモノ有ラザリシナリ
 宗教ハ皆舊教ヲ奉シ全國ノ人民之ヲ固守スルト甚厚
 シ蓋シ教法改革ノ亂ニ當リ此國主トメ新教ヲ拒絕シ
 酷虐殘忍ヲ極ハメテ之ヲ殺戮シ其民間ニ有ルモノヲ
 掃除セリ爾來益舊教ヲ固守スルガ故ニ大小寺院ノ夥
 シキヲ勝テ數フベカラズ高貴ノ僧官亦多ク其權尚民
 心ヲ束縛スルヲ免レズ○國民ノ風習固陋頑愚ニシテ
 文學技術ニ至テハ更ニ其進步ヲ見ズ製造耕種ノ業近
 來漸ク改革ヲ加ヘ鑛道電線船艦ノ如キ大略充備スト
 雖モ概子他邦ノ人ヲ雇フテ之ヲ構造スルモノ多シ○

教法改革ノ亂以來此國「インクイジション」ト名クル裁判所
 ヲ建起シ新教ヲ奉ズルノ徒ヲ嚴禁シ其殘忍ヲ極メテ
 幾許萬ノ生靈ヲ屠戮セルヲ知ラズ此裁判所五十年前
 ニ於テ初テ之ヲ廢絶スト雖モ久シク國內各府ニ建設
 シ僧侶司法ノ權ヲ擅ニメ人民ヲ糾斷シ天理人道ヲ滅
 却スル所業勝テ算フヘカラズ蓋此國ノ統計ニ從フニ
 生ナガラ焼殺セシモノ三萬四千六百餘人死骸ヲ燒キ
 棄シモノ一萬八千人獄中ニ命ヲ殞シモノ二十八萬八
 千餘人有リシト云フ其他属地ニ於テ殺戮セルモノ更
 ニ幾許萬ナルヲ知ラズ凡ソ人ノ自由ハ心ヲ以テ第一
 トス心ノ信ズル所ハ政府ノ預リ知ル所ニ非ス故ニ之ヲ置テ問ハザルハ今世開化ノ進歩ト云フベシ

然ルニ教派異同ノ故ヲ以テ如此ノ甚シキニ至リシハ
 抑何事ソヤ其國勢衰頽シテ人民頑愚ニ陷ル固怪ムニ
 足ラサルノミ教法ニ慈溺スルヲ防グニハ人民ノ智識僧侶ノ仇敵ナリト云々
 此國奕世内亂相繼ギ黨與互ニ仇視スルノ勢盛ニノ民
 心一和セズ政令最モ民權ヲ束縛シ下民亦僻陋ニ安シ
 テ更ニ知覺ノ進歩ヲ加ヘズ南部ノ如キ土地肥沃ナル
 一歐洲ノ最タリト雖モ田野荒蕪シテ人民貧困ニ終ル
 モノ多シ彼ノ廣大ノ版圖ヲ擁シ大陽嘗テ管内ニ没セ
 ズト稱セシモ方今此語ヲ以テ英國ニ歸スト湮滅シテ雖モ本此國ヲ稱セシモノナリ
 徒ニ三百年前ノ一夢トナリ爾來降テ久シク二等國ト



西班牙國
關牛之圖
但塞維里府
關牛場



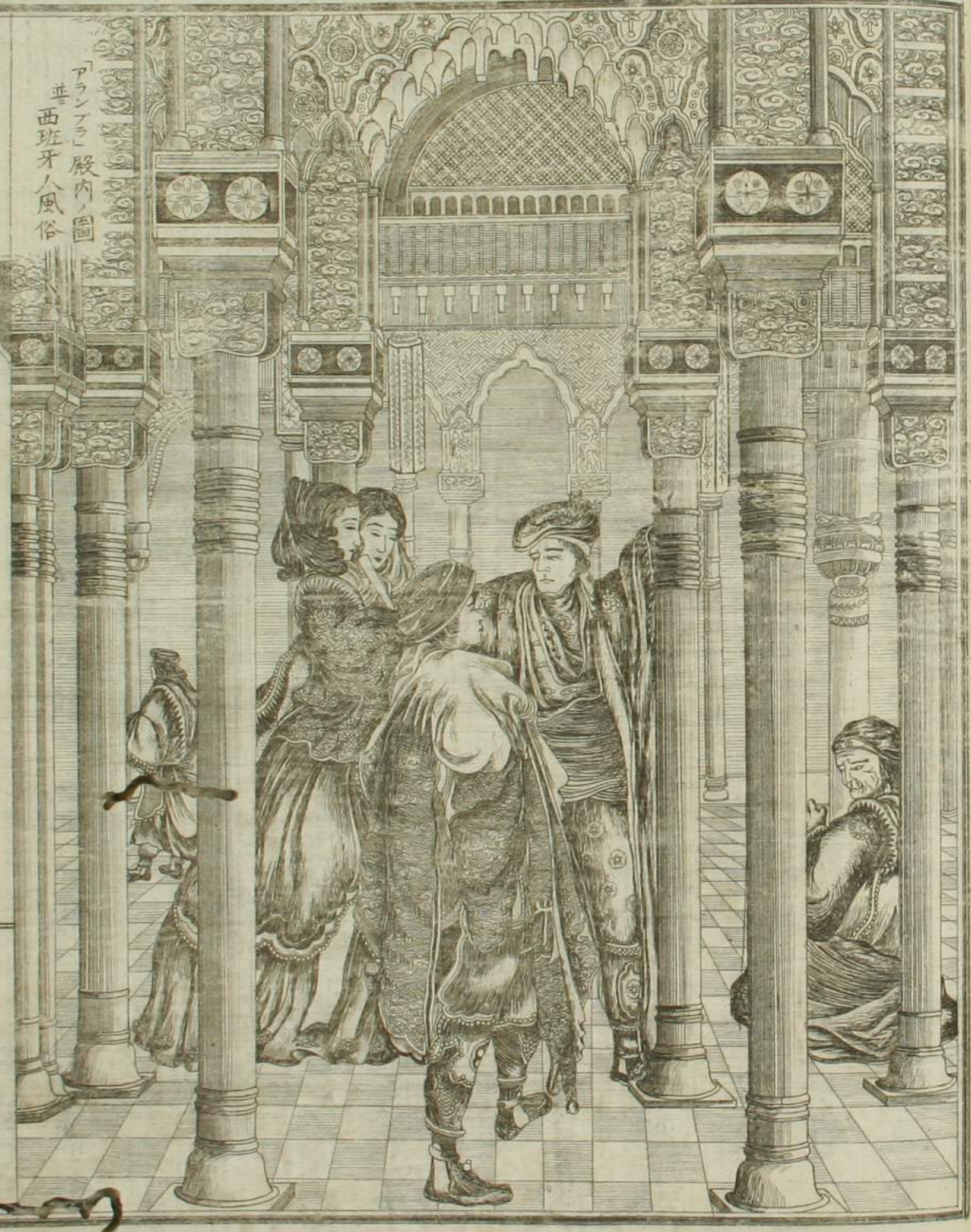
為レリ

國內諸州自ラ土風ヲ殊ニシ人民ノ氣質言語東西自ラ
 差異ヲ顯スモノ多シ然レモ風俗一般ニ管絃歌舞ヲ好
 ミ鄙鄙上下ノ別ナク普ク民間ニ行ハル又闘牛ノ游戲
 有リ他邦ニ稀ナル所ニシテ老幼男女貴賤ノ別ナク國民
 舉テ之ヲ嗜好シ其觀場ニ群集スルヲ宛モ狂人ノ如シ
 秋夏數月ノ間國都及ヒ諸州都會ノ地ニ行ハル觀場ハ
 廣大ナル圓形ノ回廊ヲ設ケ一萬以上ノ人負ヲ充ルニ
 足ル其技ヲ繼ルモノ古代ノ衣服ヲ裝ヒ騎馬或ハ徒歩
 ノ強猛ノ牛ト相格闘シ終ニ之ヲ殺スニ至ル殊ニ其大
 牛傷ヲ蒙リ狂奔スルニ當リ角ヲ揮テ之ニ枕シ或ハ馬

腹ヲ貫キ或ハ人命ヲ損ズルニ至リ其危キヲ言フベカ
 ラズ人牛互ニ互ヲ濺ギ終ニ奮テ牛ヲ斃スニ至ル片ハ
 群集手ヲ拍チ聲ヲ舉ゲテ賞賛シ觀場之レカ為メニ鳴
 動ス例スルニ凡ソ一日ニ八九頭或ハ十餘頭ヲ殺ス其
 國都ノ如キハ一週間ニ百頭ヲ殺スヲ以テ盛場ト稱ス
 此技古代希臘羅馬ノ頃ニ行ハレ後世諸邦皆之ヲ禁制
 シ方今此國ノ外唯墨西哥ニ行ハル他邦ノ人其音趣ヲ
 解スル能ハス

全國都會ノ地人口一萬以上ノモノ一百二十餘箇有リ
 其中二萬ニ過グルモノ二十餘箇殊ニ馬德里、巴塞羅馬
 拉、加拉拿、大塞維里、木爾西、瓦稜薩、加的斯、薩拉、荷散ノ
 如キハ有名ノ都府ニシテ人口皆十萬ニ過グ然レモ各

府貧民ノ數甚多シ都テ繁盛ノ都會ハ過半南部ノ諸州
 ニ在リ西部及中央高原ノ地ハ人口甚タ多カラズ山地
 ニ至テハ更ニ僻遠ニ屬シ跋躑シ易カラザル所多シ
 首府ヲ馬德里マドリッドト名ク人口三十二萬有リ大略國ノ中央
 ニ位スルヲ以テ非立二世ノ時ヨリ之ヲ京城ト定ム北緯
 四十度二十五分西經緯
 百四十三度二十八分然レ其周圍瘠土ニメ樹木ヲ生ス
 ルヲ稀ニ河流概テ乾涸ニ屬シ甚水利ノ便ヲ得ル近來
 テ運輸ニ便ナリ鐵道塗造ノ外郭ヲ廻ラシ十六ノ城門ア
 リ王宮ハ白石ヲ以テ之ヲ方形ニ疊積シ四面各七十八
 間餘高サ十丈有リテ頗ル壯宏ヲ極ハム周圍廣濶ニメ
 佳麗ノ大道直チニ外郭ノ東門ニ達ス其間大厦路ヲ校



アラビア殿内ノ圖
 西班牙人風俗

興地言

卷五

七十

文音

ミ兩側樹木ヲ植エ處々ニ噴水器ヲ設ケ殊ニ府内第一ノ勝區トス夏日ノ夕府下人民貴賤ノ別ナク群集シテ納涼ス最モ盛事ナリ書庫藏書院頗ル宏麗ニメ稀世ノ品物ヲ蓄フ又武器庫有リ共ニ著名ニ属ス此地往昔回教法王ノ都ナリシカニ百八十年前非爾難多之ヲ回復ス此府ヨリ西北十二里許エスタリアルト名ルノ地狭小テレモ有名ナル寺院アリ其廣大ナルヲ歐州中ノ第一ニ周回凡十五町アリ三百餘年前非立二世ノ建起セシ所ニメ金銀ヲ鏤飾シタル禮拜堂講堂及共世國王ノ墳墓等アリ此大伽藍ノ中堂室ノ數合セテ千八百六十箇アリ往時此業ヲ起スニ方リ一千二百萬弗ヲ費セ

リト云ノ多勒府ハ馬德里ノ南十六里許ニ在リ四面崑石多シ丘陵ノ上ニ位ス古ヨリ刀劍ヲ製スル甚有名ニメ其鍛鍊ノ妙ヲ傳稱ス○巴塞羅ハ地中海ニ濱シ國內第二ノ都府ニメ人口廿五万八千アリ往時ヨリ要樞ナル海港ニシテ方今最モ貿易繁盛シ各國ノ商船常ニ輻輳ス且諸州ノ海港及佛國ノ馬塞里等ト定期ノ蒸氣船相往来ス埠頭ヨリラングラト名シル大道半里許樹木路ノ間ミ左右ニ佳麗ノ肆店軒ヲ駢ニ旅館演戲場及諸種ノ官局多シ府内製作場甚多ク氣候和煦ニメ土地甚豐饒ナリ○加拉拿太ハ亦回教法王ノ都セシ地ニメ往昔甚繁盛ナリシガ近世漸ク衰フ大寺ノ中非爾難多及

獅子殿之圖



以沙伯ノ墳墓アリ其
 製最モ人工ノ精ヲ盡
 セ又著名ナルアラ
 ングラノ宮殿ハ嘗テ
 回教法王ノ建設セシ
 所ニメ内外奇巧ヲ盡
 シテ金碧ヲ鏤飾シ或
 ハ其彫刻シタル大理
 石ヲ以テ結構セル等
 實ニ西土ノ一奇觀ニ
 メ皆心目ヲ驚スニ足

ル以テ當時ノ富盛ヲ察觀スベシ○塞維里府ハ南部ノ
 一大府ニノ人口十五万八千餘有リ國內第三ノ都會タ
 リ瓜達幾微河ニ濱シ河口ヨリ遡ル一十八里餘巨大美
 麗ノ大寺回教法王ノ宮殿及廣大ナル闘牛場等アリ府
 内大ナル巻煙草ノ製作場アリテ政府ノ所務ニ關シ常
 ニ工人數千人ヲ使役ス又大炮ノ鑄造場甚大ナリ嘗テ
 異教檢査ノ裁判所ヲ建起セシハ此地ヲ以テ最初トス
 此府ヨリ川流ニ沿テ遡ル一二十九里許哥多瓦府ニ達
 ス現今ハ荒蕪ニ屬スレモ嘗テ繁華ヲ極ハメ其回教ノ
 盛ナル時此國ノ首府ニノバダダツト亞細亞改羅ノ法
 王京城ト其繁盛ヲ競ヒシ地ナリ寺院宮殿ノ今尚存ス

ルモノ多シ此府韋革ヲ製出スル甚有名ナリ○如的斯
 ハ西南岸ノ海港ニノ人口七万五千
 リ日巴拉大ニ近
 ク堅固ナル城堡ヲ設ク往時此國亞米理加ノ版圖ヲ有
 セシ頃ハ數千ノ商船常ニ輻輳シテ繁盛ヲ極メシ大都
 會ナリ今ハ大ニ衰フト雖モ酒類ノ輸出夥シク市街殊
 ニ雜選セリ此地歐州中最古府ノ一ニノ非_ニ非_ニ西_ニ亞_ニ人_ニ創
 ノテ之ヲ建起セシト凡三千年前ニ在リ爾來風ニ有名
 ノ港トナレリ此地ヨリ南ノ方タラズルガ_ル岬有リ英
 國ノ水師提督納爾森ノ大戦セシ地ニノ當時此國ノ船
 隊ヲ廢没スト雖モ終ニ此處ニ命ヲ殞セリ又加的斯ヨリ
 北_ニヤ_ニン_ニル_ニカ_ニル_ニ港_ニハ_ニマ_ニシ_ニラ_ニン_ニノ_ニ世_ニ界_ニヲ_ニ一_ニ周_ニセ_ニル_ニト_ニ開_ニ帆

日巴拉大海峽之圖



セシ處ナリ近傍小市アリハロスト名ク閣龍ノ亞米理
 加ヲ見出セルキ此處ヨリ船ヲ發ス其他古跡甚多シ
 日巴拉太ハ國ノ南角ニシ地中海ノ海門タリ堅固ノ炮
 臺アリ古ヨリ數度戰爭ノ地ニシ百六十五年前ヨリ英
 國ニ屬ス巉崑陸地ヨリ連リ直立屏風ノ如ク海中ニ屹
 立シ其高サ二百卅間光景甚奇ナリ周圍攀緣スヘキノ
 處ナク只西面稍斜ニシテ僅ニ上ルヲ得ベシ西面ノ山
 脚海灣ヲ為シタル處小都會有リ人口一萬五千英國ヨ
 リ衛兵ヲ置テ之ヲ鎮ス氣候炎熱ニシ水ノ飲料ニ供ス
 ヘキノ雨ノ水ヲ仰グノ外更ニ之無ク總テ人ノ健剛ニ
 適セス府下亞拉伯人亞非理加人等雜居ス此地產物無

ク英國ノ之ヲ領スルモノハ殊ニ地中海ノ鎖鑰ヲ擁シ
 テ要害ニ供スルニ過ギズ
 東岬地中海ノ中許多ノ屬島有リ馬惹架米諾架伊非架
 佛門德ヲ以テ主眼トス總テ巴利里諸島ト稱ス又摩洛哥
 哥ノ西南ノ方海上纔ニ二十餘里加那里島アリ此國ニ
 屬ス此地亞非理加洲ノ部ニ入ルト雖モ其近海ニ在ル
 ヲ以テ通常之ヲ本國ニ合セ算ス土地豊饒ニシテ產物多
 ク即チ酒油麥砂糖菓物等ナリ○海外ノ領地ハ現今次
 第ニ縮小シ總計一萬八千四百方里餘ニシテ人口四百五
 十二萬餘ニ過ギズ其中西印度ノ古巴及ヒ支那ニ近キ
 呂宋ヲ以テ最トス呂宋既ニ前ニ出シ其他亞非利加ノ西岸及ヒ

東洋ノ中拉的羅尼嶋ノ一部ヲ領ス皆舉グルニ足ラズ

○葡萄酒

西班牙ノ西部ニ接シテ大西洋ニ面シタル一小國ナリ
亞索利嶋ヲ合セテ表面六千百三十方里人口三百九十
八萬餘有リ地勢山脈多シト雖モ西班牙ノ如ク高峻ナ
ルニ至ラズ川源ハ源ヲ國內ニ發スルモノ皆小ノ太古
杜羅卦地亞那^ト等概子西班牙ヨリ流レテ大西洋ニ
灌注スル者多シ全國ヲ六州ニ分ツ多クハ沃壤ニシテ
草木鬱茂シ處々美景ノ地多シ產物ハ葡萄酒海鹽ヲ以
テ第一トス其他礦物多シト雖モ之ヲ得ルノ術精シカ
ラス故ニ其料甚多カラズ此國曩時ハ嘗テ富强ノ聲譽

ヲ得殊ニ航海ノ術ニ於テハ初メテ東洋ノ海路ヲ開キ
軍モ盛業ヲ擅ニセシカ後來政衰ヘ人民固陋ニ安シ西
班牙ト共ニ國內黨與相競ヒ漸ク海外ノ属地ヲ失ヒテ
更ニ寥々タル小國トナレリ國民大略舊教ヲ奉シ文化
甚普カラズ其文字ヲ書スルヲ得ル者人口ニ比例スル
ニ十分ノ一ニメ小學ノ教ヲ受ル者十六分ノ一ニ過ギ

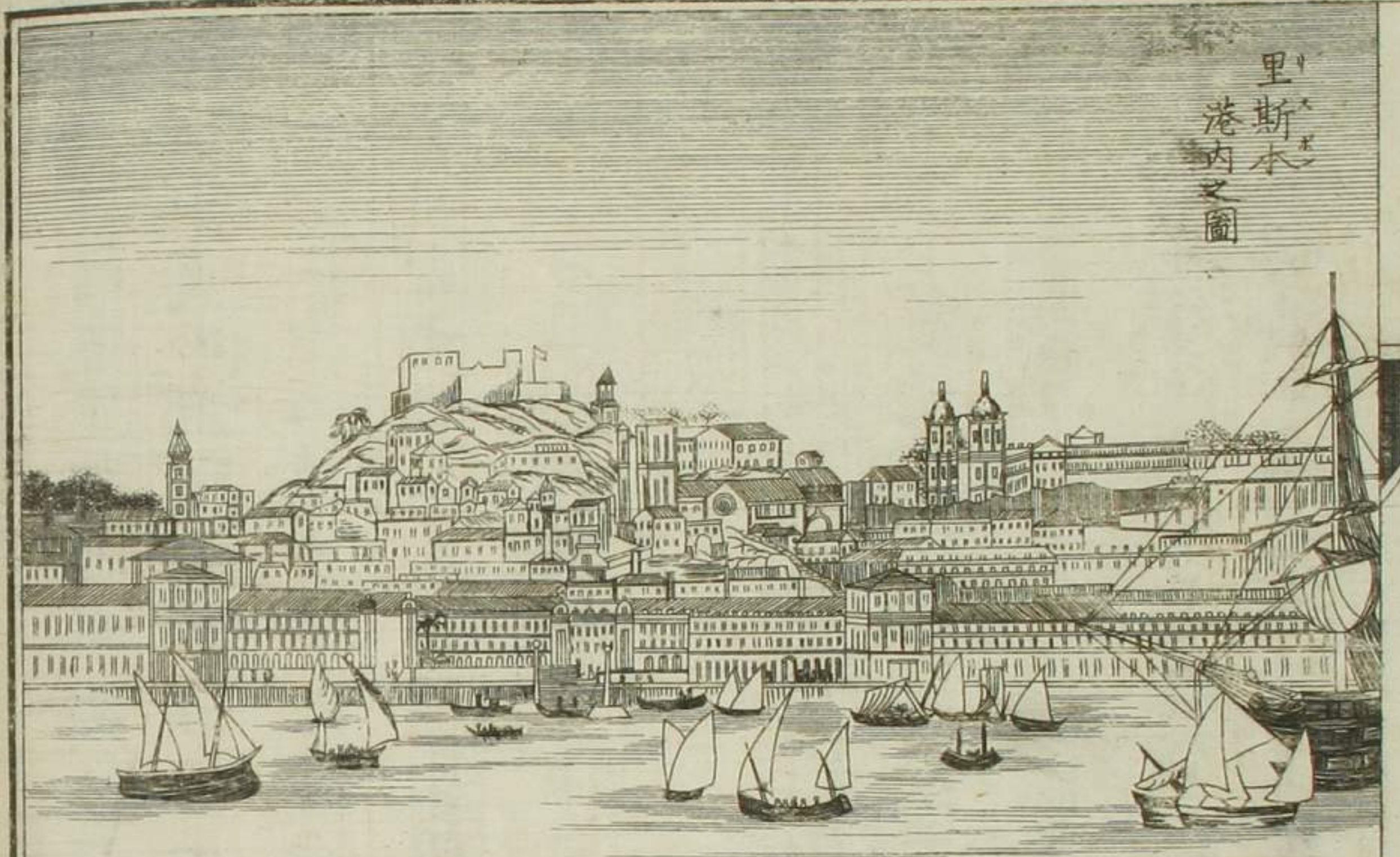
ズ 西班牙
亦同シ

首府ヲ里斯本^{リスボン}ト名ケ人口二十二萬四千人有リ即國ノ
西岸ニ在リテ太古ノ河口ニ濱スル有名ナル海港ナリ
三百年前ニ在テハ歐洲第一ノ繁榮ト稱セシガ其後國
勢ト共ニ衰ヘ還往昔ニ比スル能ハズ然レモ尚貿易繁

盛ニノ商船ノ出入夥ク葡萄酒ノ如キ每歲輸出ノ量三萬ヨリ四萬函ニ達ス此府百十六年前烈シキ地震ニ依テ人家過半破壊セラレ殆ト三萬餘ノ人命ヲ損ゼシガ近世漸ク舊ニ復シ市街繁華ヲ為スニ至レリ府外丘陵叅差ヲナシ頗ル美景ニノ別荘七千ヲ以テ數フ近郊マフラノ地有名ナル城郭アリ其中華義ノ堂榭八百七十アリ○尤皮斯ハ首府ノ南ニ在リ人口一萬六千酒及鹽ノ製造甚盛ナリ○疴波多ハ國內第二ノ都府ニメ人口五萬ニ過キ貿易ノ盛ナルリス本ニ亞グ所謂ホルト酒ノ輸出甚夥シク又絹布ノ製造盛ナリ○固英巴拉府人口一萬五千餘大學校有リ國內ニ於テ大學校ハ唯此

府ノミナリ○呢里襪斯人口一萬餘堅固ノ炮臺アリ亞索利島ハ西ノ方三百三十里ニ在リ表面百十方里ニメ人口二十二萬有リ地勢嶮峻ニメ火山多ク土地豊饒ニメ葡萄酒煙草菓穀ノ産極メテ夥ク氣候甚タ溫和ナリ然レトモ地震亦少ナカラス且近傍波濤激翻シテ船行甚危ウシ馬德拉嶋ハ本國ノ西南二百七十里ニ在リ海上遠カラズト雖モ亞非利加洲ノ部ニ入ル地方纔カニ六十二三方里ノ小島ナレトモ山水秀美氣候甚タ和煦ニシテ精良ノ葡萄酒ヲ出ステ夥シク諸州ニ傳ヘ島名ヲ以テ稱ス其他海外ノ領地ハ亞非利加ノ西岸塞内岡比公額莫

里斯本
港内之圖



三鼻ノ地及ビ^{ケイ}岁朴^{ウエル}威德諸
 島等アリ土地^{サシ}磽瘠ニシテ
 得ル所ノモノ多カラズ又
 亞細亞洲ニ於テハ印度ノ
 疴^ゴ襪^ア及ビ支那ノ香^マ山^カ等ナ
 リ至テ小ナリ其他印度諸
 島ノ内地^チ墨爾^モ民^ル多^ラ羅^ラ等ノ
 海岸ヲ領ス往昔ハ印度ノ
 海岸及ビ諸島ヲ散領シ南
 亞米理加洲^オ巴^シ西^ルノ如キモ
 盡ク領地ニ屬シ其勢甚タ

盛ナリシガ後世次第ニ縮少ス然レトモ今存スル所ノ
 領地四萬三千四百方里ニシテ人口一千八十五萬ニ過
 ギ殆ンド西班牙ノ屬地ニ三倍セリ

西班牙葡萄牙兩國畧史

此國古代土人ハ塞^セ爾^ル達^ダ種
 ニノ又イベリヤシト名ル種族有リ次デ非^フ尼^ニ西^シ亞
 人ノ殖民ニ因テ南部次第ニ開^ラケ又加^カ爾^ル達^ダ額^ジノ領
 地ニ歸シ人種甚^シ混淆ス降テ羅馬ノ盛ナルニ及ビ
 其故國ニ歸セシガ彼歐州居民大遷徙ノ時ニ方リ
 維^ウ士^シ我^ゴ特^トト名タル民種次第ニ南徙シテ此國ニ住
 シ各部皆酋長ヲ立テ邦土ヲ分領セシモノ自ラ封
 建ノ状ヲ為シ爾後人口益繁^シ殖^シテ稍ク開化ニ趣

ケリ後回教ノ兵力盛ナルニ及ビ三卷亞拉伯ノ千
 百七十年前ヨリ屢亞拉伯人ノ侵掠ヲ被リ邦土概
 子之カ為ノニ陷ラル亞拉伯人既ニ全國ヲ平定シ
 漸ク北進ノ佛國ニ侵入ス又處々ニ都府ヲ建設シ
 回教ノ法王數百年間駐駕シテ邦土ヲ開キ當時其
 富強ノ盛ヲ極ハム是時維士幾特ノ諸侯及ヒ人民
 皆山地ニ引退キ僅ニ嶮岨ニ據テ之ヲ守リシカ然
 始回教ノ兵ニ抵抗シ多年死カヲ盡シテ戰鬥シ猛
 將勇士身命ヲ以テ國ニ殉ヒ遂ニ侵敵ヲ掃攘シ隨
 テ許多ノ都府ヲ建設シ大小ノ侯伯互ニ邦土ヲ分
 領セリ其後四百二三十年前ニ及ヒ小國次第ニ合

併シテ四王國トナル即チポルトガル葡萄牙、カスチル卡斯德、アラゴン亞拉岡、及
 ヒナバール納瓦國是ナリ然レ其南部ハ尚回教人ニ属ス
 ○繼テカスチル卡斯德、ポルトガル葡萄牙、合併メ一國トナル先是葡國
 ノ内尚回教ノ徒跋扈シテ之ヲ平定スル能ハサリ
 シガ佛國不干の候、カスチル卡斯德ノ女王ト婚シ千一百一里斯
 本ヲ擊テ大勝ヲ得アラビヤ亞拉伯人ヲ逐テ之ヲ平定シ繼
 テ王國葡萄牙ト稱ス○其後アラゴン亞拉岡王フェルナンド非爾難多ト
カスチル卡斯德ノ女王イサベル以沙伯拉ト婚シ兩國合併シ千四又
ナバール納瓦ヲ攻取リテアラビヤ亞拉伯人ヲ驅除シ葡萄牙國ヲ除ク
 ノ外半島ノ全部ヲ一統シ初メテイヌバニヤ西班牙國ト稱ス
 當時兵力次第ニ強盛ニ至リ地中海ノ諸島及ビ以

太利ノ諸部ヲ併吞シ次テ閣龍ノ亞米理加ヲ發見
 セシモ亦此王ノ世ニ在テ九十四年ニ遂ニ其地ニ殖民ヲ
 為シ金礦等ヲ檢出シテ其利益ヲ得ルニ甚夥シ○
 是時葡國モ亦漸ク強盛ニ至リ航海ノ業ヲ鼓舞シ
 次テ亞非利加洲ノ北岸ヲ攻略シ次第ニ其西岸ノ
 地ヲ領ス當時此邊賦漠トノ未タ之ヲ知ル者アラ
 ガリシニ葡王顯理殊ニカヲ航海ノ業ニ用ヒ連年
 遠ク船艦ヲ遣シテ搜索ヲ歷始メテマデラ嶋ヲ發
 見シ^{十四}次テ亞索利諸嶋ヲ得盡ク之ニ殖民ヲ為
 シ此ノ如ク漸次ニ亞非利加ノ西岸ニ沿テ南進シ
 幾内亞等ノ各地ヲ略取シ三百八十五年前終ニ

ルソロメウ、ジアス^ル船艦ヲ指揮シテ亞非利加洲ノ
 最南角ニ達セシガ大風波ニ因テ船行ヲ妨ゲラレ
 遂ニ之ヲ廻ル能ハズメ國ニ歸リ之ヲ葡王ニ報ズ
 葡王其久シク企望シタル東印度ノ通路ヲ開クベ
 キノ徵ヲ得タルヲ祝シ仍テ其地ヲ喜望峰ト名ケ
 潜ニ之ヲ喜ベリ後數年ナラズ^テネコデガマスナ
 ル者果シテ喜望峰ヲ周廻シ初メテ印度ニ航スル
 ヲ得タリ^{十四}是ヨリメ葡國專ラ印度ニ通商ヲ開
 キ馬拉巴爾^ルコロマンデル^ルノ海岸ニ商館ヲ建設シ
 次デ印度諸島支那及ビ我日本ニ貿易ヲ通ジ瓜哇
 蘇門答臘^ル摩鹿加^ル諸島ノ各地ヲ領ス是ヨリ前東洋

ノ産物ハ皆陸地ヨリ隊商ノ運輸ニ因テ僅ニ西土ニ達セシニ今海路ヲ經テ自由ニ里斯奔港ニ載送スルニヨリ此地忽チ世界ノ大市場トナリ各國ノ商船輻輳シテ當時歐洲第一ノ繁華ト稱セリ蓋シ當初歐洲ニ在テ航海ノ業ヲ開キシモノハ葡西兩國之カ萬矢ニシテ其西國ノ米理堅ヲ發見セシハ葡國ノ印度ニ海路ヲ開ク六年前ニ在リ初メ葡國ノ多年東印度ノ海路ヲ搜索スルニ當リ幾里德閣龍ナル者以大利熱那ニ生ル積年船舶ニ從事シ頗ル航海ノ術ニ精シク常ニ地中海ヨリ亞非理加ノ海岸ニ往來セシガ其海濱ニ漂蕩スル野ノ木材ニ奇キ彫刻

ヲ為セル者及ビ骨格ノ異ナル人屍等流着タルヲ見テ以為ク遙ニ淼茫タル大洋ヲ隔テ人未ダ知ラザル所ノ一世界有ルベシ人屍木材共ニ果シテ何モノト雖モ云々殊ニ地球ハ圓體ナルガ故ニ直チニ西方ニ向テ數千里ヲ航スル片ハ必ズ東方ニ旋回シテ印土ノ一隅ニ達スベシト是ニ於テ益々航海及ビ諸般ノ學術ヲ治メテ深ク之ヲ研究シ其必然ルベキヲ決シ各國ノ王侯ニ遊説シテ此大業ヲ成シコトヲ乞フト雖モ皆之ヲ虚誕ナリトメ更ニ信スルモノ無ク概チ狂人ヲ以テ遇スルニ過キズ閣龍落魄シテ諸國ニ流寓セシガ終ニ西班牙王及女王ニ謁見

シ其本意ヲ吐露セシニ其說初メテ賞賛セラレ殊
 ニ女王其志ヲ感シ三艘ノ船艦ニ水夫及資用等ヲ
 給シテ之ヲ實驗センコトヲ許セリ此於テ閣龍悅ブ
 一限リ無ク古来未ダ跋渉セザル大西洋ヲ西ニ向
 テ帆ヲ開キ前後航海ノ間許多ノ危難ヲ侵シ初テ
 新世界ヲ發見スルヲ得タリ尚亞米理加洲ノ○西
 班牙王非爾難多唯一女有リ奧國公族非立父ハ即
 帝ハのキシミリヤン母ハ即ニ嫁シ太子查理斯ハ生
 不レレハ疾ノ女馬利是ナリ一嫁シ太子查理斯ハ生
 ム西王卒スルニ及ビ他ノ血統ナキカ故ニ查理斯
 ヲ以テ西國ノ王位ヲ嗣ガシ一十五次テ其日耳曼
 帝マキシミリヤン及馬利ノ孫タル故ヲ以テ奧國

及ヒ不レ干的ヲ合セ領シ遂ニ日耳曼ノ帝位ニ登リ
 查理斯五世ト號ス西國ニ一世又哥爾德及畢
 撒哥ヲ大將トノ南北亞米理加ノ各部ヲ蠶食シ海
 外ノ領地ヲ擴ムルト夥シク其版圖西ス蘭ヲ包テ
 以太利ノ大半ヨリ佛國ノ東北ニ跨リ日耳曼ノ列
 國盡ク藩屏ニ屬シ亞米理加洲ハ南北ヲ合セテ智
 利秘魯墨西哥等ニ蔓延シ實ニ羅馬ノ後此ノ如ク
 至大ノ版圖ヲ領セシ者アラズ然ルニ教法改革ノ
 争端起リ日耳曼ノ内地更ニ平穩ナラズ殊ニ佛王
 法郎士一世ト競ヒ積年互ニ干戈ヲ動カシテ止マ
 ズ終ニ下度佛王ヲ擒ニセシト雖モ晚年復ヒ佛國

ト戦ヲ交ヘ敗績ニ及ベリ天、白髮ヲ惠查理斯帝此
 ニ於テ歐洲全土ノ其意ニ適從セザルコトヲ歎シ忽
 チ自ラ位ヲ退キ寂寞タル山寺ニ閑居スシテラセシ
蓋シ此帝至大ノ版圖ヲ擁シ人間ノ富貴ヲ極ハ
 ト雖モ人世ノ常無キヲ悟リ世界ノ歡樂ヲ幻夢水泡
 ト見做シテ斷然法門ニ入り讀經ニ從事シ更ニ精
 微ノ器物等ヲ弄シテ時辰儀ヲ世ヲ終ルニ至リシ
 ハ豈卓異ト謂ハザル可シヤ唯其教門ニ遁レシノ
 ミニ非ズ氣運ヲ察シテ禍亂ノ兆ヲ洞看シ邦土ヲ
 棄ルコト土芥ノ如ク善ク其終始ヲ全セル者ト謂フ
 ヘキノミ後生ナガラ埋葬ノ禮ヲ行ヒ幾時ナラズ

病ニ因テ卒ス千五百五十八○查理斯帝位ヲ退クニ當リ至
 大ノ版圖ヲ兩分シ西班牙、和蘭及ヒ海外ノ領地ヲ
 合セテ其子非立二世ニ譲リ墺國ノ位ハ其弟非爾
 難多ニ傳フ次テ日耳曼ノ非立二世残忍ニシテ舊教
 ヲ固守シ國內及ビ和蘭ニ於テ新教ノ徒ヲ殺戮ス
 ルコト數ヲ知ラズ和蘭ノ七州竟ニ兵ヲ舉テ獨立シ
 久ク命ニ抗セリ又葡王顯理ハ西王ノ伯父ナリシ
 カ其卒スルニ及レデ嗣子無ク西王虛ニ乘シ撃テ
 之ヲ平定シ終ニ邦土ヲ合併スルヲ得タリ千五百八因
 テ令ヲ下シテ里斯本港ヲ鎖シ和蘭ノ船舶ヲ入レ
 ス既ニ和蘭ノ海軍漸ク強勢ニ趣キ遠ク西葡ノ

領地ヲ護ヒ印度諸島及亞弗理加亞墨利加ノ各地
 之レカ為ノニ蠶食セラル天草後ノ前我カ日本ノ
葡人ヲ逐ヒシト此時ニ
 ア此ニ於テ航海貿易頓ニ衰ヘ國內大ニ騷擾シ葡
 國亦兵ヲ舉ゲテ西國ニ及キ巴拉加侯約翰ヲ立テ
 王トシ獨立ス然ルニ葡國和蘭ト和セズ其東印度
 ノ領地多クハ是カ為メニ奪ハレ稍ク巴西ヲ維持
 スルヲ得テ僅ニ和議ヲ講セリ千六
大九西王非立再ヒ
 和蘭英國ト戦端ヲ開キ莫大ノ軍艦隊盡ク其鏖没
 スル所トナリ更ニ此頽勢ヲ回復セント欲シ亞米
 理加ノ領地ヨリ別ニ船艦ヲ以テ夥ク財寶ヲ運輸
 セシニ亦盡ク和蘭ノ軍艦隊ニ奪ハレ殊ニ屬國ノ

政令其宜シキヲ得ス皆騷擾ヲ醸レ國勢大ニ衰テ
 次テ王位繼承ノ争亂沸起シ各國之ニ關係スルモ
 ノ多ク十三年間歐洲大半ノ戦亂ト為リ國力益疲
 弊ス蓋國王查理斯二世嗣子無ク没シ王家ノ系
 統絶ユ然ルニ墺國查理斯及ヒ佛王路易十四世ノ
 孫非立共ニ其分系ナルヲ以テ王位ヲ繼カントテ
 欲シ互ニ兵ヲ構フ此時英國葡國和蘭ノ數國ハ共
 ニ墺國ニ連合シテ佛國ニ抗抵シ遂ニ西國和蘭以
 太利等ノ地ニ於テ屢戦鬪セリ此
時英國ニ降レラレ
今尚其叔
周ニ屬ス此騷亂ノ結局ハ西國領地ノ以太利比利
 時ニ在ルモノヲ削リ列國其非立ノ即位ヲ許可シ

漸ク和議ヲ講スルニ至ル^{一三七}爾後稍ク干戈ヲ收
 ムト雖モ既ニ積弱ノ餘ヲ受ケ黨與互ニ競フテ民
 心一和セス百餘年前ニハ最モ隆盛ノ極ニ達セシ
 葡西兩國モ終ニ衰頹ノ振ハサルニ至レリ○王位
 繼統ノ争亂以來葡國英國ト親睦ナルニヨリ拿破
 崙ノ大陸條例ヲ布告スルニ當リ葡國之ニ戻リテ
 潛ニ英ト貿易ヲ通ス故ニ忽チ佛國ノ大兵ヲ被フ
 リ邦土皆其陷ル所トナリ之ニ抗スル能ハス葡王
 竟ニ國ヲ棄テ、海外ノ領地巴西國ニ遁レ都ヲ來
 約熱內盧ニ定ム次デ西王其太子ト和セズノ内訌
 フ起スニ當リ拿破崙虛ニ乘ジテ之ヲ襲撃シ西王

ヲ伴ニシ自ラ其兄約色弗拿破崙ヲ封ジテ西班牙
 國王トス^{一三八}然ルニ國民舉テ之ニ服從セズ死力
 フ盡シテ佛國ニ抗シ殺傷無算屢酷烈ノ戦争ヲ為
 シ且英國ノ應援ニ因ツテ益氣カヲ回復シ佛兵強
 勢ト雖モ之ヲ平定スル能ハス殊ニ英國元師維林
 敦三軍ヲ指揮スルニ至リ形勢大ニ變シ屢佛軍ヲ
 破リ次第ニ北進シテ遂ニ國界ノ地ヲ復ス^{一三八}其
 間拿破崙魯國ニ大敗スルニ及ビ列國合從ノ兵ト
 南北ヨリ進シテ終ニ共ニ巴黎ニ逼レリ○奧都維
 也納ノ會盟ニ於テ葡國ヲ舊ニ復シ西國ハ菲爾難
 多七世王位ニ登ルト雖モ海外ノ領地更ニ動亂ノ

遂ニ獨立シ兩國共ニ黨與分裂シテ騷擾止マズ既
 ニ疲レタルノ餘ヲ承ケ國勢益衰頽セリ○葡王都
 フ移スノ後巴西ノ地方亦内亂ヲ生シ黨與互ニ争
 鬪シテ駐駕スル能ハズ因テ其太子ペドロヲ留メ
 テ國事ヲ委託シ終ニ葡國ニ歸レリキハ然ルニベ
 ドロ自ラ立テ帝位ニ登リ尋テ獨立國トナリ其父
 卒スルニ及ンデ兼テ葡國ノ王位ニ登ラント期
 セリキハ然レモ其自立セルヲ以テ葡人之ヲ拒ム
 者少ナカラズ終ニベドロノ女馬利ヲ立テ女王ト
 ス然ルニベドロノ弟「ミダエル」覬覦ノ志ヲ懷キ黨
 與ヲ結ンデ之ニ迫リ終ニ馬利ヲ廢シ自ラ王位ニ

登リキハ得タリ其後數年ナラズ巴西帝「ペドロ」位
 フ其幼冲ノ子ニ禪リ國事ヲ攝政官ニ託シテ自ラ
 歐洲ニ歸リキハ一兵ヲ引テ葡國ニ侵入ス此ニ於テ
 國內黨與分裂シテ骨肉相屠リ終ニ「ミダエル」ヲ逐
 ヒ其女馬利ノ位ヲ復スルヲ得キハ然レモ黨與ノ
 勢尚衰ヘズ女王卒スルノ後太子「ペドロ」五世立チ
 次デ今王路易一世ニ至レリ○三十七年前西國非
 爾難多七世卒スルニ及ビ遺言シテ憲法ヲ改革シ
 位ヲ其幼女以沙伯ニ傳フ之ヲ以沙伯二世ト名ケ
 母后「キリスチナ」政ヲ攝ス從來女王ヲ立前王ノ弟
 查理斯之ヲ憤リ黨與ヲ鼓舞シテ相闘キ數年間内

亂止マズ遂ニ一タビ查理斯黨ヲ鎮壓スト雖モ相
 競ノ勢益衰ヘス三年前復ビ内訌四起シ女王ハ
 巴黎ニ遁レ國ヲ合衆共治ト為セリ然レモ更ニ綏
 寧ナル能ハズ去歲又王國ニ復センコトヲ欲シ普國
 ノ王族ヲ迎ヘ立ントスルノ議ヨリ終ニ普佛ノ大
 戦争ヲ引起セリ然ルニ今春ニ至リ以太利王ノ次
 子ヲ迎ヘテ王トス之ヲ「アメデ」一世ト號ス

川上 寛 幕畫

市川清流 同校

寺内章明

其志各卷五終

架天堂 佐藤了翁
 苑書

